

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－104）、MOX燃料加工施設（1－95）」

2. 日時：令和4年1月25日（火） 15時30分～19時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員

大柿 常務執行役員 他18名

九州電力株式会社 テクニカルソリューション総括本部 土木建築部

原子力土木建築部長

東京電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル技術グループ

チームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部（原子力技術） 副長

電源開発株式会社 原子燃料室 上席課長

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 専任部長代理 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「燃料加工建屋の耐震評価結果」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和4年1月14日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年1月17日
「日本原燃（株）MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	主力規制庁の竹川です。それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリングは、令和2年12月に申請があった設工認申請につきまして、これまでに提出があった資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:20	まず規制庁側の出席者紹介いたします。
0:00:24	本庁側からの出席がツガネハバサキタケダ、以上になります。
0:00:31	WEBからの参加が、
0:00:33	キシノコサク。
0:00:35	モリノ。
0:00:37	以上3名になります。
0:00:41	それでは日本原燃の方から、本日の
0:00:47	出席者の紹介と、本日の議題の構成、説明範囲達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:56	次、こちら日本原燃仲間です。
0:00:59	日本原燃の参加者をご紹介します。
0:01:04	まず事務局ですが、ストウ。
0:01:07	オオガキ。
0:01:09	ムラノタカハシ。
0:01:11	タカマツタニグチ。
0:01:14	ナカハマ。
0:01:16	説明書でございますけれども、フナコシサトウ。
0:01:20	ミヤモト。
0:01:22	イナガキ。
0:01:23	おかしい。ウラバヤシ。
0:01:26	イナズマ。
0:01:28	オガセ。
0:01:29	スギタ。
0:01:30	山口。
0:01:32	目時。
0:01:33	鶴田。
0:01:35	ウェブからの参加で、ハラダ、三田伊賀。
0:01:38	加えまして、九州電力様より、明石様。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:43	大成建設様より、高橋様、石黒様、渡部様、作田様となっております。
0:01:52	本日も説明します資料でございますけれども、審査会合資料といたしまして、飛来物防護ネット学校の耐震評価。
0:02:02	及びそれに附属し、補足説明資料でございます。耐震建物 23、
0:02:09	当審査会合資料でございます。P A 建屋の耐震評価及びそれに関わる補足説明資料でございます。地震 00-02 の、
0:02:20	別紙についてご説明させていただきたいと思います。
0:02:25	よろしければまず最初に、飛来物防護ネットの方からご説明差し上げたいと思います。
0:02:31	すいません規制庁補足ですけど。
0:02:34	ヒアリング進めて構わないんですが、これで再処理の方が資料 2 と書いてあって、
0:02:43	MOXの方が資料 1 って書いてあるんですけど。
0:02:46	これ、どういう。
0:02:48	ナンバリングなんですか。
0:02:56	はい。日本原燃の赤間でございます。新審査会合といたしましては、資料一番の順番、一番の、
0:03:06	MOX 燃料加工建屋カーの新評価からご説明する予定でございますして、二つ目としまして再処理側の方の、
0:03:16	白井物防護ネット学校の耐震評価の、
0:03:20	ご説明をしようと思ってございました。今回のヒアリングにおきましてはですね、資料の準備できてございました。耐震
0:03:30	化最初、規制庁コサクですヒアリングはいいんですけどって言ったんですけど。
0:03:36	会合のその予定って、
0:03:39	何か認識が合ってるのかどうかよくわからなくて、
0:03:42	津金さんどう考えておられるんですか。
0:03:48	規制庁津川です。当初の予定では、MOX 燃料加工建屋の説明を受けた後に最終やるという段取りで予定しておりましたので一応資料の順番としては、事業者の認識の通りです。以上です。
0:04:03	規制庁草間です。わかりました我々の内部で今採用してるところがまだちゃんとできてない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:11	接続するのです。はい。こちらの段取りにしたがってその資料が出てくれば一、二という順番だったんですけどもちょっと資料1の方が間に合っていないということなので、今回ヒアリングでは資料2の方からやるといふふうに認識。ごめんなさい。津金さんちょっと私の認識。
0:04:27	理解してくれてないんだけど、審査会合の順番っていうのはその順番で、認識合ってるっていうことでいい、いいですよねということで、
0:04:37	今調整してる
0:04:39	中での資料がそういうふうになってなかったから、
0:04:43	私は混乱してるんですよ。来ます。
0:04:48	規制庁津川です。失礼しましたちょっとそちらのこと等があつてなかったんですけども、最初、事業者に伝えた段階では、MOXの方を先にということ考えていたんですけども。
0:04:58	ちょっと今それにそごがあるところはお指摘の通りなのでちょっと調整し直します。以上です。
0:05:05	はい。とりあえず今はMOX最初っていう認識のもとで、
0:05:10	弓削と話してていいんですか。
0:05:13	はい。季節ツガネです。現状その認識なんですけれどもちょっと今日のヒアリングを踏まえてまた順番変わるかもしれませんので、その点は事業者にも認識していただきたいと思います。
0:05:24	よろしいでしょうか。
0:05:28	はい。こちら日本原燃仲間です。はい。今のご認識了解いたしました。
0:05:33	規制庁日下ですけどその上で資料は分けるっていうスタンスで今いる。
0:05:39	んですか。
0:05:45	規制庁津川です。一応そのMOXと最初再処理で、扱ってる内容も、それぞれなので、一応資料を開けるという形で、今、来ていただいて、
0:05:56	重症の方で作っているということです。
0:06:02	規制庁コサクですけど、であれば、表紙が何か。
0:06:06	よくわからなくて、
0:06:08	資料2の表7のところにモック数を書いてあるんですよ。
0:06:14	これは何ですか。
0:06:33	日本原燃伊奈仙波です。はい。資料2の方ですけどももともと
0:06:37	冒頭、先ほどお話ありましたように、先にMOXの説明をした中で、こちちょっと合本する形で当初考えていたので、本資料の表紙としては、最初にMOXということで、設工認の状況説明。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:50	その中で、もうご説明をして、そのあとに、A4B最初の説明をしようということで今はその方はこのようにしているという状況でございます。
0:07:00	契約しません。
0:07:02	何で今日、私の思いが皆さんに通じないのか、何かすごい実験を今しているんですけど。
0:07:09	今言われたので当初まとめるつもりだったから書いてるは理解できるんですけど。
0:07:15	先ほどお話あったように資料1と資料2に分けるということで資料2と書いたのであれば、
0:07:21	ここからはMOXは入ってないっていう判断をされるんじゃないんですか。なんでMOXって書いてあるんですか。
0:07:34	日本原燃稲留さん。はい。おっしゃる通り、こちらにつきましては適切に予備の話だけをするのであれば、再処理施設の設工認の状況という形で、
0:07:44	修正して、資料2として、同じできるように、
0:07:48	藤直したいと思います。以上です。
0:07:52	はい。
0:07:52	規制庁勝です。そうすると廃棄物管理もいらなくなっていいですか。
0:07:58	日本原燃の東です。はい。今回の申請としては第1回申請の、再処理施設の説明でございますので、再処理施設としての説明資料としたいと思います。以上です。
0:08:09	はい。規制庁日下です。わかりました。では進めてください。
0:08:16	はい。原子力規制庁の竹田です。
0:08:19	それでは最初の説明資料としましては、左粒経済物防護ネットの介護市場になりますので、こちらの資料につきまして日本原燃の方から、
0:08:32	ポイントになる部分ですね、説明お願いいたします。
0:08:38	はい。日本原燃の大柿でございます。ではまず、飛来物購入とか本耐震評価ですがこれは先週1度
0:08:49	提出して、ヒアリングしたものでそこでいただいたコメントを反映して、今日、改訂版としてまず1ページでございます。
0:08:59	なので主に10月に3社審査会合、さらにその後、先週のヒアリングでいただいたコメントに基づいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:11	充実なり改正した部分を中心に説明したいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。
0:09:17	はい。規制庁の竹田です。はい。
0:09:19	それで結構です。お願いします。
0:09:22	いつでもご説明します。
0:09:31	日本原燃伊奈様です。
0:09:32	それで修正した部分を、
0:09:35	メインとして説明させていただきます。
0:09:39	冒頭ですね、まず3ページ目でございます。
0:09:43	こちらの方ですね、前回のヒアリングにおきまして、コメントは硫安、先月の12、12月の審査会合におきまして機受けた事項につきまして、抜けていた部分ございましたので、
0:09:58	こちらについては、追記する形で修正してございます。
0:10:03	また対応結果につきましても今回のヒアリングの資料におきましては、結果を合わせて示してございますので、指摘事項に対する対応結果という形でその内容を記載させていただいた、いただいたというところでございます。
0:10:20	続きまして、後の構成としまして、4ページ以降、第一部という形で、設計モデルの妥当性保守性の検証という形で、第1部と第二部、ちょっと明確にその内容がわかるようにという形で表紙をつけさせていただいてございます。
0:10:36	5ページ目から8ページ目につきましては、もともとのヒアリングの際には方針の部分が第一部として受けてございましたので、この部分は、
0:10:47	12月の会合の再掲という形で、各方針ですとか、着目すべき項目について、修正、再掲という形での、
0:10:59	再資料を載せているというところでございます。
0:11:04	9ページ以降ですねコメントを踏まえて修正しているという部分でございます。まず9ページの部分でございますが、こちらにつきまして各項目で、
0:11:14	合理化の可能な項目ということで、その根拠、示してございますけれども、それ以外に合理化しない部分というところについても説明を求められてございましたので、
0:11:28	こちらにつきましては、参考のページ、354というところで、ページでいきますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:38	31 ページ以降ですね。
0:11:40	こちらの方で各検証用モデルと設計モデルにおける妥当性確認の内容ですとか、32 ページに参りまして、それぞれ
0:11:51	検証用まで、また設計までにおけるの合理化の考え方、また、検討の考え方を理解しない部分についての考え方について記載していくと、これは三十二、三十三同様でございます。
0:12:05	まだ、当初資料戻っていただきまして10 ページ目でございますけれども、こちらの方、
0:12:11	ですね。
0:12:13	はい。10 ページ目でございますけれども、5 章の方で先ほど9 ページでお話しました設計モデルの妥当性の考え方を示してございますが、3 ポツ2 というところで、
0:12:24	この中でですね地震動としてどのようなもので、検証するののかというところを合わせて、今回は生成とSC案を使えますということを記載してございます。
0:12:35	これでいいのかどうかという確認につきましては、その定量的な評価を参考授業の中で、SAとSC湾が影響が大きいというところを説明して、した。
0:12:48	資料を参考資料としてつけてございます。
0:12:50	またちょっと説明がちょっと前後してしましますが、今回の検討におきましては、3 ポツ1 の表の下ですね、2 行、あの辺りからでございますけれども、
0:13:00	今回の検討としては、検討駄目としてオッピングの影響というのを、
0:13:06	萩尾千葉幅野ところで検討してございますが、この中で幅野小さいですね、NS断面を代表として検討しているというところを記載してございますので、検討断面と地震動と、
0:13:18	どのようなものでやるのかということについては、この10 ページ目でご説明してるという内容でございます。
0:13:23	11 ページ目以降が、前回のヒアリング以降、数値等を載せて、検証結果等について記載したというところでございます。
0:13:33	11 ページ目では、情報加工について、衛藤米、イチジクでやるのかもうまたやるのかというようなところについて記載してございます。それぞれですねちょっと情報を例にして。
0:13:43	負債についてはまたお話しさせていただきますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:47	まず目的として、どのような目的で、この上部確保について、検討する、するのかというところ、まずその際の確認項目ということで、(1) から (3) を記載していると。
0:13:57	結果を受けて、今回の通報で言いますと、の情報加工の位置付けにしたもの、またBのもあったりしたもの。
0:14:05	これはと大きく変わらないというところで、今回は1軸で評価するというような評価をしてください。
0:14:11	同様の整理で12ページ以降についても、検証を行っているといったものやっております。
0:14:19	12ページにおきましては、接触剥離要素ということで、今回考慮しているものと、この指定まで、この程度差があるのかというところ。
0:14:29	先ほどのように目的確認項目検証結果というところでご説明した内容になってます。
0:14:36	13ページに参りまして、こちらの方では、先ほどもちょっと申し上げましたけれども、
0:14:43	改良地盤幅、実務解析、それらの施設の幅ですね、ちょぼ、
0:14:49	加地幅野書を使ってるAの方、こちらの方はNS断面を模擬したものでございましてこちらの方が影響が大きいので、このNSA三名を用いて、検証等を行っていくということをご説明したいと考えてございます。
0:15:04	また14ページに参りまして、
0:15:08	堀尾田丸というですね薄い層がございますけれども、設計モデルにおいてはこの部分をない状態で評価してるんですが、評価というのが、定量的に影響がないというところをお示ししたと。
0:15:21	結果になってございます。
0:15:24	15ページになります。15ページ、これ前回の資料では構成の比例衛藤非常に構成差が小さいということでご説明したんですけども。
0:15:34	こちらにつきましても他の検討と同様にですね、やはり応答として影響はないというところを説明するために、実際の解析を行いまして、
0:15:45	その基礎張りを5倍としたものとなるものというところで、説明を付け加えた、
0:15:52	修正して、結果を載せているといったものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:57	16 ページ目以降につきましてこちらの保守性を与えるということで、設計モデルの方が保守的であるために、どのような検討したのかというところについて説明した資料、
0:16:10	考え方を、19 ページ。
0:16:12	記載してございます。17 ページに参りまして、具体的には、周辺構造物を考慮するものとししないものでは、
0:16:19	考慮していないものの方が水平等に関してでございますけれども、保守的な値を与える、王道となっているというところについて、
0:16:29	ご説明してございます。ただし、この中での鉛直動につきましては、周辺構造物を考慮したものの方が大きくなっているというところの分析につきまして18 ページに記載してるといったものでございます。
0:16:42	こちらにつきまして考え方は、前回のヒアリングでもご説明しましたけれども、やはり炉オッピングというものが、なかなかその一軸のモデルでは表現できにくいというところもございましたので、
0:16:54	形にした場合にどの程度の影響があるのかというところを、定量的に確認したといったものになってございます。
0:17:01	その結果、19 ページにお示しした通り、
0:17:06	門型の、その鉛直確認をモデルというものでは、鉛直方向の加速度が大きくなっているということに関係してきました。
0:17:15	ただし、ちょっとこちらの方に記載してございますけれども、
0:17:20	設計モデルとして、
0:17:26	最終的にどのような、
0:17:29	設計として、衛生設計モデルを用いるというところで問題ないというところをすいませんちょっとページ戻ってしまいますけれども、18 ページになります。
0:17:39	18 ページのちょっと上の、やっぱりの二つ目のポツになるんですけども、
0:17:44	もともと水平動の保守性を求めることであるということで設計モデルを用いていましたけれども、もともとのこの施設の評価と、
0:17:52	いう意味では、水平動の寄与を、というところを、ちょっと後段の衛藤港になるんですけども、交通費の中でご説明してございまして。
0:18:03	結果として設計上支配的では鉛直の島トガシはできないというところを確認した上で、今回の設計モデルの鉛直の応答というのはそのまま設計に用いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:16	参りたいというところをちょっと記載しているといったものでございます。
0:18:22	続いて 20 ページになりますけれども、こちらにつきましても、特にのコース候補行為のあるなしによる、コース効果というところの営業を確認したといったものやっております。
0:18:33	また 21 ページでございますけれども、こちらについては、MMRの有無による応答の比較を行って、MMRを考慮しない方が保守的であるというところを確認しております。
0:18:46	22 ページでございますけれども、こちらにつきましては、液状化しているもの、全体的に増加してるものと、浄化してるものもありますけどその中間状態ではどのようになっているのかというところ。
0:18:59	こちらにつきましては 12 月の米、私的な会合の指摘を際に、下に書いてある表の中ですね、とこういった項目についてご説明しますといったものに対しまして今回、
0:19:12	左が右側ですね、コンタツ記載してございますけれども、
0:19:17	施設等その周辺の地盤の状況ということで、最大せん断ひずみの状態等を確認した上で、非液状化と液状化の間というのは、
0:19:27	特異な応答等が生じていないということを確認したと。
0:19:32	いうものを記載してございます。
0:19:36	23 ページでございますけれども、こちらにつきましては、検証モデルの妥当性というところで、前はちょっと我々の説明が良くなかったんですけども、柏崎先行例としまして、
0:19:51	箇所付におけます鑄造検診のシミュレーションを行ったというところでの、
0:19:56	モデルの考え方ですとか地盤物性の与え方を整理した上で、当社の六ヶ所の今回の施設において、
0:20:05	間違いがあるのかどうかというところを整理し、今回は、考え方としては同じような考え方を持って設定しているので、
0:20:14	今回の研修モデルというところは、用いることは妥当であるというふうな判断をしたというところを記載してございます
0:20:22	最後に 14 ページでございますけれども、こちらにつきましては、最終的に設計モデルとして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:29	設定したものと、検証モデルの比較を行いまして、水平動でございますけれども、設計モデルの方が全体として保守的な影響をとまっているということを確認したということに記載してございます。
0:20:45	途中でもお話ししましたけども鉛直動につきまして長文のクマガイですとか、一応加速度については、
0:20:53	セコムの方が小さい値になってるところにつきまして、設計の影響というところを確認したのが25ページでございます、
0:21:02	25ページの中で、全体のその設計に与える寄与度というものを、
0:21:07	せいぜい成分と書いて成分、鉛直成分、地震以外の成分を分けまして、水平の影響が大きいというところを説明して、
0:21:17	今回は設計モデルとしては、そのまま鉛直動も制度をそのまま設計に持ち、波及的影響として、その値を用いたいということに記載してございます。
0:21:28	その確認のまとめを26ページに、二つ山根記載しまして、それぞれの影響が小さい。
0:21:36	制度が新規であるということに記載してございます。
0:21:39	これを実際の各第二部の方では、このモデルを用いた結果を記載しているといったものやってございます。
0:21:49	27ページでございますが、ちょっと今までお話ししたところをまとめた形で、山根四つ、五つですかね、にまとめて記載して、今回の設計モデルを用いると。
0:22:01	いうところについては妥当であるということを確認したと記載してございます。
0:22:06	第一部の本文をここまでです、28ページ以降につきましては、これまで説明した内容の補足的な、参考資料になってございます。
0:22:18	続きまして第二部の方のご説明を差し上げたいと思います。45ページ、成長のタケダです。よろしいですか。
0:22:26	一旦第1部です、区切ってちょっとこちらからの事実確認等を行いたいと思うんですけど、よろしいですかそれで。
0:22:35	日本原燃伊奈様です。よろしく申し上げます。
0:22:37	はい。それでは第1部まで、規制庁側から、事実確認を行いたいと思います。確認事項ある方、お願いいたします。
0:22:52	院長の岸野です。
0:22:55	まず9ページなんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:58	前回会合でのコメントへの説明ということで、少し説明を加えてきていただいていますけれどもちょっとこれについて、
0:23:07	確認です。
0:23:08	展開左側の勝（1）で、
0:23:12	しかし、中に、モデル構築プロセスにおける確認項目は下記の通りということで、（1）に3と4を挙げていますけれども。
0:23:22	これ、具体的な中身っていうのは、また説明がないわけですが、後ろの方の、
0:23:28	32ページと33ページに、
0:23:31	123に対応。
0:23:34	理由として①から⑯の、
0:23:38	まずはここが出发点だというそういう理解でよろしい。
0:23:45	日本原燃矢沢です。はい。具体的な中身につきましては、今おっしゃっていただいたように、
0:23:52	参考資料の方で整理した項目、細かい項目になってございます。はい。以上です。
0:23:59	施設。はい、わかりました。まずこの①から⑯という、要は母集団ですね、この中から合理化しないものを理解したもの、分類したという流れになるかと思いますので、
0:24:14	9ページのこの下、片括弧1説明の中では、この母集団。
0:24:20	そして、或いは全体像としてですね、32ページ33ページのような項目があるということで、とは全部もうここに挙げづらいかもしれない。銀行は、
0:24:31	内容でもいいかもしれませんが、まず母集団を作るですよという説明をしていた。
0:24:36	これらの根本から、合理化したものをしないものを分類したという、そういう等にかかるような説明にちょっと工夫していただけますでしょうか。
0:24:49	日本原燃の東です。はい、かしこまりましたそうですね。9ページの中で、それぞれ、三十二、三十三に書いてるような8項目。
0:24:57	あった上で、その中で郡鹿野、鶴市内という検討してるということがわかるような形で、東証の方は、追記修文するような形で対応させていただきたいと思えます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:10	岸野です。はい、お願いしますいわゆる文章だとちょっと、そうですね、その結論が出たところになってる感じがしますので、まず母集団でそれから、より分けたというような流れをですね意識して、
0:25:21	させていただきたいと。
0:25:27	無理かしない項目としてですね、この9ページの(2)と(3)、
0:25:32	挙げてるんですけど、32ページの方を見ますと括弧1に分類される中でも、物、
0:25:38	音で合理化していないのが、
0:25:41	ありまして、③モデルは、⑤の木曾刈りなんかそうだ。
0:25:47	いうところでも合理化しなかった項目として、受けるべきものだと思いますので、9ページと32ページですね、この整合がとれるような形で、
0:25:58	記載の方は適正化していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
0:26:05	はい。日本原燃にあります。はい。9ページの方にちょっと今、局長としては、確かに
0:26:11	母集団の中で、
0:26:14	折り返したものをしてないものというところの、
0:26:16	しっかり説明できてない部分があると思いますので、ちょっと今ご指摘あったところを踏まえて、通称の方、整合する形で、整合するようにですね、
0:26:27	その方を考えていただきたいと思います。以上です。
0:26:32	鶴来委員、よろしくをお願いします。
0:26:36	一応普通に関しては、私は以上なんですけど、他の方にこれに関して何か。
0:26:44	なければ、散髪について。
0:26:46	引き続き、私の方から、
0:26:52	はい。内容ですね、議論を続けます。10ページ。
0:26:57	うん。
0:26:58	下、3ポツに、
0:27:01	検討に用いる地震、以下の理由により、S sの上ですねCHとすると。
0:27:08	定量的な評価はと。
0:27:10	入ってるんですが、
0:27:12	ちょっとこの文章がですね先ほどのイナズマさんから、冒頭ご説明があった、説明の中で、ちょっと違っている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:20	うん。
0:27:21	いわば、もう S s の S s - C1 でいきます。
0:27:25	木内的な断定的な書き方をされていて、定量的な評価はその 54 と書いてあるんですけど。
0:27:34	久野コサクイナズマさんのご説明があったように、認識の内容っていうのはおそらく、
0:27:40	これは
0:27:41	店舗における地震動を移す以下の理由によって、S s - D S S の椎木と、
0:27:47	仮定していった。
0:27:49	その過程が妥当であることを検証したのが 3 項中、
0:27:54	ということかと思えます
0:27:57	御説明もこれで良いのかについては 3 号 14 で、
0:28:01	というふうにご説明があったのでそういう認識で正しいんだと思うんですけど。
0:28:05	ぜひ、
0:28:07	この記載がですね系統。
0:28:11	ちょっと断定的になっていますんで、逗子市と仮定してその妥当性についてだとかですね、そういった
0:28:19	検討の流れと目的がわかるような形で、記載の方、
0:28:24	適正化した方が良くと思いますが、まず、この認識合ってますでしょうか。
0:28:30	日本原燃伊奈様です。はい。ご指摘ありがとうございます。今岸野さんにご指摘いただきましたように、我々として S S A 新案を仮定として用いると、
0:28:43	それぞれ生成の理由資料に記載している通りでございますけれども、このような理由で、と仮定して、この二つでやっていくと。ただそれが合ってるかというところを、三方事業の中で、
0:28:55	確認をしたというところが、正しい
0:28:58	流れ、プロセスでございますのでそれがわかる形で、前段の文章も、しっかり、ご指摘いただいた内容に沿うような形で修正したいと思います。以上です。
0:29:10	院長の岸野です。はい。そういう認識ということであればですね、ちょっと参考の 14、44 ページの方をちょっと含めると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:22	うん。
0:29:23	そういう検証等での位置付けであれば参考の 14 の概要ってのは結構重要です。重要だと。
0:29:29	深川運用担当 14 という 1 ページの中でですね、代表的な結果で、清瀬てるんですけど、検討の条件例えば用いたモデル、設計モデルでいいと思うんですが。
0:29:42	いや、この地震の方、
0:29:44	N S E W
0:29:48	物性はどのような設定をしたのかといった条件については何も説明が入ってないと思います。これについては、
0:29:55	40 ページの中になるのかもしれませんが、この 44 ページの検討条件の説明を加えるべきだと思うんですがそれは可能でしょうか。
0:30:06	日本原燃の東です。はい。おっしゃる通り 44 ページ、世間等の条件、解析の条件等が抜けているところございますので、こちらの方は、適切に補足説明できる。
0:30:18	内容を記載する形で、確認いただけるようにしたいと思います。
0:30:23	以上です。
0:30:25	金です。はい。
0:30:27	お願いします。
0:30:28	住民国民ですけど、この設定モデルを用いて 1 行目に書いてますけど設計モデル N S 方向と E W 方向で 2 段目があると思いますが、その両方を使ってやっているという理解でよろしいです。
0:30:41	日本原燃なってますねこちらの方は地震動としての影響確認でございますので、
0:30:46	その方に記載しています通り、方向性ね即刻 E W 方向の方において、その影響確認を行っているというものでございます。以上です。
0:30:57	わかりました。無線のばらつきっての見てるんですか。これやってるものってというのは、物性は基本ケースだけでやっているのか、或いは健康観で、最大応答にとったのかそれはどちらか、
0:31:09	日本原燃の東です。はい。こちらの方では地盤の物性としては平均値の基本ケースでの確認ということを実施してございます。
0:31:20	部長の岸野です。わかりました。そのあたりのですね、記載の充実の方をお願いいたします。
0:31:27	後ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:30	11 ページに戻りまして、
0:31:36	11 ページから 15 ページまでっていうのが、設計モデルの妥当性の検証を各項目ごとに、説明している内容になっているんですけども。
0:31:46	これはですね先ほど御説明だっって一番前の 10 ページ、一番下で地震動の説明をしたってご説明があったんですけど。
0:31:54	説明としてはそれだけで、
0:31:56	例えば J N E S E W を
0:32:00	おそらく設計に使ってると思いますが、14 ページなんか違うモデルを使ったりですね、多分検討項目ごとにまちまちの条件設定をされているようなんですがそれらについての説明というのが 10 ページを、
0:32:16	6 ページ。
0:32:18	はい。
0:32:20	説明されないのでしょうか。
0:32:35	日本原燃の東です。はい。その通り。
0:32:39	11 ページから 15 ページの中でそのモデル平面的なモデルを使うというのに対しては、N S 方向を使うと。
0:32:50	いうところをお話し、その、
0:32:53	妥当性につきましては、53 ページのモデル改良幅と、表一番改良の幅の部分。
0:33:00	モデルの施設の幅の部分でご説明してございますが確か 14 ページのところは特に N S E W というのは、
0:33:07	関係ないの 1 時空のですね、1 次元のモデルの中モデルを使ってございますのでちょっとこちらの方、適切にですね等を用いてモデル、考え方について説明できるよう、ちょっと、
0:33:19	方針がですね、10 ページの方で、生後不正もない形で対応するように、文章の方は記載したいと思います。
0:33:29	以上です。
0:33:31	20 年とか 10 ページから、16 ページ、15 ページのかね、これはもう、N S 方向に限定してやっているという。
0:33:41	こういったんですね、そういう理解でいい。
0:33:45	日本原燃稲葉です。はい。検証の断面としましては、N S 断面というところを、
0:33:54	検討してございます。その内容、中身につきましては 10 ページの、すみません、ちょっと今なお書きになってしまってますけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:03	ロッキングの影響というところとしては
0:34:06	はい。地盤の幅が小さいものの方が大きいというところでN S方向で、
0:34:12	その検証を行っているといったものでございます。
0:34:16	うん。
0:34:18	末次岸野です。はい、わかりました。確かに今日されておりました。
0:34:22	はい。ちょっとわかりやすい記載の適正化の方をお願いします。
0:34:28	日本原燃の東です。記載の方
0:34:31	適切な場所、このなお書きの部分がこの場所でいいのかというところも含めてですね、ご理解いただけるような形でですね7ページの方は修正したいと思います。以上です。
0:34:43	井内です。はい。
0:34:45	それと、10ページですね。ここだけ1件、1次元土中モデルっていう、その他で使ってない。
0:34:53	ここで、そういった新たなモデルを使ったりするのは何なんでしょうか。
0:34:58	他の設計後でこれと同じように設計モデルで、検証すればいいと思う。
0:35:03	うん。違うモデルを導入した理由を説明して、
0:35:11	大成建設高橋です。
0:35:15	今回問題となっているソリュサーバーの厚さ 0.37 メーターある非常に意味
0:35:23	小さい寸法になっております。で、これを設計モデルの方に反映して解析しようとする、アスペクト品が、かなり、
0:35:33	大きな数字になってしましまして、その解析結果の妥当性というところで、問題があるというふうに考えておりました。
0:35:43	今回は、この貯留砂岩の影響のあるなし、この二つ、確認だけであれば、わざわざ設計モデルの方に反映して、もう1回、
0:35:57	アスペクト比が満足するように、メッシュを切り直す、そこまでやる必要はないかのように考えまして、一軸の1事件の途中モデルを採用するに、
0:36:08	至った、至りました。以上です。
0:36:14	所長の岸野です。はい。ご説明は大体理解
0:36:18	ん。
0:36:18	ステップ1かのメッシュサイズの制限からってというのはそれはその通りだろうと思うんですけども、一方で、1エリアごとにしてしまうと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ですね、おそらく特徴的に存在しないという多分、水平方向に県立屋上に。
0:36:35	それで評価できるのかっていうところもちょっとあるかなと思う。
0:36:39	それも踏まえてですね、1次元宇宙モデルでいいんだよってというのは、どのようにお考えなんでしょうか。
0:37:04	大成建設高橋です。今、岸野さんのご指摘のように、水平方向に対しての影響については、確かに1次元という形であれば、適切な評価はできないかもしれないです。
0:37:20	今回のこの、
0:37:24	応答については、
0:37:27	直接の地震動の伝達というのは、
0:37:39	そうですね。
0:37:42	今そういう様とですね、その下の歳入3案の数値の違いが大きくないことも理由の一つに挙げさせていただいてですね。
0:37:55	大きな影響はない、そのように考えております。
0:38:00	以上です。
0:38:02	清町の岸野です。はい。ありがとうございます。
0:38:06	今言われてた内容で、下の裁量砂岩と比べて大きな数字の差がないっていうのは、おそらくモデルに用いた物性の値のこと剛性とかのことかなと思いますけど。
0:38:17	うん。そういう理解でよろしいでしょうかということと、それをさらに与える物性によっては影響が出てくるかもしれないんですがそれをどのように設定したんですかということをおっしゃって。
0:38:33	まず大成建設タカハシ。
0:38:36	北。一つ目の質問なんですけども、岸野さんのご指摘の通りです。実際に物性値で構成で見て、
0:38:47	さは大きくない、そういうようなことで発言しました。二つ目のご質問なんですけども、ちょっとよく聞き取れなかったっていうかなので、すみませんがもう一度お願いできますでしょうか。
0:39:04	規制庁岸野です。そうリング株について、設定した物性ってというのは、どのようにして、
0:39:11	設定したんでしょうか。
0:39:13	何に基づいて設定したんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:23	下の左右数段と、値が似てるってということも何で確認したのかっていう、そういう、そういう質問です。
0:39:35	はい。大成建設高橋です。実際にこの直下地盤のボーリング等で出した試験結果のその数値をもとに、
0:39:45	今回物性値を使っていますので、多分木内D。
0:39:50	比較しております。
0:39:54	院長の岸野です。はい。試験値があるということですから、基づいてるということですね。
0:39:58	わかりました。そういうことで先ほど地震動を入力する方向に絡めて1次元でいいんだっていうご説明と、
0:40:08	あともう一つその物性値がその直下の層と比べても変わらないというようなご説明だったかと思しますので、そういった考え方からこの電話の1次元途中モデル、
0:40:19	採用した理由の一つになるかと思しますので、そのあたりの説明というのを加えてもいい。
0:40:26	いただけていただければと思うんですが、よろしいでしょうか。
0:40:32	はい。大成建設高久承知しました。追記いたします。
0:40:39	これって長期です。
0:40:41	ちょっとすいません次の15ページなんですけど、この基礎張りの高さについて確認する項目。
0:40:47	特任教授。
0:40:48	もう1から3と挙げていて、これ木曾橋の高さを検証しようとしている基礎張りに着目して確認。
0:40:57	記憶していない。
0:40:59	上部が区画の宗千田とか米本、
0:41:02	というのが、なぜ
0:41:06	大成建設の高橋です。このところで、着目しているのは、この基礎張りの高さが55.3メートルと50名、55メートルの、
0:41:19	30センチの作業って、最も影響が生じるのは、情報確保。
0:41:27	と、いうふうな認識を持っております。そのために、この上部架構への影響がどういふふうになっているか、それを今回の確認項目に、
0:41:38	の対象に挙げました。
0:41:40	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:44	規制庁の木島です。磯辺委員。上端の応答加速度加茂木曾モリノ設計に用いる。
0:41:52	情報構造だけに限定し評価した技術。
0:41:56	としては今の説明がちょっとわからない。
0:42:01	はい。大成建設の高橋です。市野他のおっしゃる通り、
0:42:06	今日の上側の部分の冒頭にも、もちろん設計の、
0:42:12	に設計するための、
0:42:15	遠地ということで採用しますが、今回我々の中で考えたのがですね、 今、基礎側上の 55 メートルの、
0:42:27	値と 55.3 メーターの値では、もともと
0:42:34	かなりかたいので、応答値が差はないっていうふうな思い込みで、今回は その部分の供給は、
0:42:45	企画の方に、その部分の比較を記載しませんでした。なので、今のコメントを 反映しまして、この規則上の加速度についての比較も実施しようと考えて おります。以上です。
0:43:01	議長。岸委員。はい、わかりました。こちら確認項目としても追加する。
0:43:05	理解しました。これはあれですか。31 日の会合資料にも、それが追加されて 入ってくるという理解に。
0:43:13	大成建設高橋です。その通りです。もう早急にコアの数値が出ておりますので、 記載するような形に。
0:43:21	記載するだけですので、案は間に合います。以上です。
0:43:25	11 です。わかりました。下のため聞きしますがけれども、結果の評価は、今これと 変わらない。
0:43:34	そういう感触でしょう。
0:43:36	はい。大成建設タカハシその通りです。血管委員は、観光でございます。以上 です。
0:43:43	水口です。はい、わかりました。
0:43:47	うん。
0:43:48	うん。
0:43:56	あとすみませんちょっと戻っちゃうんです。13 ページなんですけれども。
0:44:01	ルーフェーと S s の C R ですね、基礎梁分水平加速度応答スペクトルという ものが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:10	の出方がちょっと違うんですが、左側には、地盤全体の物件等の影響で、SSの例は違いが出て性質の支援は出てないというんですけど。
0:44:21	これは、
0:44:23	何か根拠データ、裏付けがあって、そのように評価をしているのか、あくまで推測なのか、それはどちらなんだ。
0:44:35	日本原燃イナズマです。はい。ご指摘の点につきましては今回、発足からですね、参考資料の方に、異なる部分の説明を加えています。
0:44:45	翻訳しました38ページをご覧いただきたいと思います。参考9のところでございます。
0:44:59	はい。こちらの方に、先ほどご指摘いただきました清清野か新地とSCMの関心事での、衛藤後藤の違いっていうのはロッキングの影響ではないのかというところを記載してございます。
0:45:12	この中で、Ss-Aとしては主体として全体的にパワーを持っているものでしたので、その改良幅を小さい場合の部分と、
0:45:23	Bの部分での一番全体のロッキングのモードの部分での建て方が違うのではないかと。
0:45:31	椎葉の場合はそもそもの地震動そのものにですね部分的な波だったというところでそれがそのまま出てきているので、その地盤の違いによるはですね、地盤改良幅の違いによる、
0:45:44	影響が出にくかったんじゃないのかというところで、こちらの方に、この、我々推測した時の根拠といいますか、影響というのはどのような、
0:45:55	によって生じているのかというところを、記載して先ほどの本文中で労金への影響はないかというところを記載したところでございます。説明以上でございます。
0:46:08	所長の内野です。参考9にあるようにですね、この69度の保有周期の大小関係で水室
0:46:22	家もどうなんですかね。
0:46:25	直接の確か説明があったのが35度と、ひょっとしたら私の勘違いかもしれませんが、あったように思ったんですが、
0:46:32	このあたりのその根拠データですとか、いわゆるこのSSのSSの椎葉についての、
0:46:39	スペクトルのプロ
0:46:43	のミスだとか、そういったものはないと考え

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:46	よろしいですか。
0:46:48	ここに記載の通りで、
0:46:51	すぐとか、よろしいでしょうか。
0:46:55	日本原燃イナズマすみません、こちらの方ちょっと、詳しいところ大成さんの方から、ちょっと補足をいただいてもよろしいでしょうか。大成建設の堀田です。今こちらに書いております。農道につきましてはゴシックはないと考えております。
0:47:11	で、先ほど3時4時という話があったかと思うんですけども、実際にです。ね。或いは刺激係数を上位から取った3番目、4番目にです。ね。
0:47:21	こういった火災一番浜に対応する、ロッキングというのが出ています、やはりそこで中期件数の上位3番目4番目ということ、ここで書いております。6次という違いがあらわれているものと思っております。
0:47:36	ただ当然だからそういう資料のですね、統一的な文章、これが重要だと思っておりますその辺今一度確認をさせていただきたいと思っております。以上です。
0:47:48	部長の内野です。終わります。
0:47:53	総務省としたら、
0:47:55	かもしれないですけど、何かそこはちょっと整合がちょっと。
0:47:59	規制庁ハバサキです。
0:48:01	よろしいですか。ちょっと38ページのところで確認したいんですけども。
0:48:06	まずこの65度っていうのは、何のものですか。
0:48:13	はい。大成建設の
0:48:15	宇都です。今右側にお示ししております65といいますのは、一番支持地盤、また埋戻動だけではなく、真ん中に書いております。改良地盤です。ね。ロッキングに挙動する事。
0:48:30	6次モードとして、記載をさせていただいております。もちろん一次ボード等はですね、地盤全体が動くようなことがあるんですけども、時数が上がっていきまるとこういったロッキングのようなものが現れるということが、解析的に確認されております。以上です。
0:48:46	季節ハバサキです。まずう38ページの右の元図非常に見にくいので見やすくしてくださいっていうのと、6次のモードは結局改良体の、
0:48:57	こういうモードみたいな扱い、考えで理解しておけばよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:05	はい。大成建設の堀田です。はい。浜崎さんがおっしゃられた通りということでございます。以上です。
0:49:11	規制庁浜崎ですわかりました。その上でなんですけれども、左側のスペクトルの比較を見てS s - Aの、その後改良幅のショート代がですね。
0:49:23	かなり違う、その差っていうのは、ちょっとまだ十分説明しきれてないかなというふうに思っています。
0:49:31	特に山根の最後の行にありますようにですね、S S C湾は、継続時間が短くパルス的な挙動のためこうなったって、ちょっと周期特性の話と、継続時間の話と、
0:49:44	何かごっちゃになってますし、ここら辺もう少し精査していただきたいと思うんですが。
0:49:51	できますか。
0:49:56	はい。大成建設の堀田です。承知いたしました。
0:50:00	井関尼崎です。背弧向け件に関しては以上です。
0:50:08	金です。ここまで三方としては私は以上ですけど、他に何か。
0:50:17	規制庁の武田です。すいません。1点だけ。
0:50:21	さっき割り切りそびれたんですけど、教えてください。14ページの、1次元途中モデルによる検討なんですけれど。
0:50:29	これっていうのは1次元の有効力解析による検討だという認識でよろしいでしょうか。
0:50:39	大成建設さん、お願いし大成建設の堀田です。こちらの解析は堀本石堂に関しまして、液状化を考慮した有効副会長。
0:50:53	以上。
0:50:57	わかりました。そういうことでしたら、衛藤。
0:51:00	はい。
0:51:02	承知しました。
0:51:04	と他の。
0:51:05	他でやっているですね、妥当性の検証と、同じ条件でやっているということを確認ができました。ちょっと一言そういうことをですね、記載いただければと思いますちょっとモデルが違いますので、刀禰のために確認させていただきました。
0:51:25	日本原燃の東です。はい。他のモデルと合わせて
0:51:29	有効応力解析であるというところがわかる形で、資料の方は修正させていただきます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:36	規制庁浜崎です。ちょっと戻ります。12 ページ。
0:51:41	についてちょっと確認したいんですけども、これ剥離の有無の比較をされてますけれども、
0:51:48	結果的に、今回、剥離考慮のバー隔離をしたんですかしたんでしょいか。剥離した場合は、どの程度剥離窓のよ、部分まで剥離したとかです、その点は押さえられてますか。
0:52:06	はい。大成建設の堀田です。実際にですね、こちらの図になります。につきましては、側面については稟承知でございます。ただやはり生じている中でもこれぐらいの応答の差だったということで、
0:52:20	このような設定、このような検討としております。以上です。
0:52:26	規制庁浜崎です。剥離が生じているということは例えば、赤で剥離要素のところ、これすべて剥離、ある時刻では剥離したと。
0:52:36	いう状態になったというふう理解しておけばいいんですか。
0:52:41	大成建設の堀田です。今尼崎さんがおっしゃったように、ある時刻で完全にすべて剥離したということではなく部分的な剥離ですね、こういったことが生じているということで発言さ、発言をさせていただきました。
0:52:56	以上です。
0:52:57	規制庁ハバサキです説明は理解しました。
0:53:01	介護資料にそこまで細かい必要は、説明は必要ないんですけども、今日説明があるのかなのか補足説明の 23 番の方にはですね、やはり剥離領域だとか、
0:53:13	どの部分まで剥離してても、最終的なその基礎入力に影響はこの程度しかないとかですね、そういう考察の方をしてもらいたいと思いますが、可能でしょうか。
0:53:28	はい、大成建設堀田です。承知いたしました。以上です。はい。
0:53:37	規制庁浜崎です。私からは以上になりますから岸野さんお願いします。
0:53:43	ちょっと私も 1 点。
0:53:46	ムラノタケダから確認が、
0:53:49	14 ページについては有効な
0:53:52	11 ページから 15 ページについて、解析モデル解析条件の説明を加えてくださいと言いましたが、これは有効だ、全応力場である。
0:54:02	部長でやってるかという説明を受けているんですけど、11 ページから 15 ページの共通して、有効応力解析だけでやってるとい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:10	含みになるのでしょうか。
0:54:16	はい大成建設の堀田です。はい。今岸野さんから。
0:54:21	すべて有効力解析の方で実施してございます。以上です。
0:54:26	社長に聞くんです。
0:54:30	設計部の妥当性を確認するために一つ一つの影響因子についてのありなしで、今比較をして、大体、ほぼ同じ結果になってただそうだねっていう確認をしているわけですけどその設計モデルっていうのは、
0:54:45	有効力解析全応力解析、これ以降のステップで両方に使うわけで。
0:54:50	ここで有効力解析だけで、確認している。
0:54:54	というのは、どういう考えを教えてください。
0:55:04	基準。
0:55:05	大成建設高橋です。今回の資料 10、この参考 14 の 14 ページの方で、すべての地震はいたしておりますが、
0:55:19	どの地震版が最も大きい状況になるかという各方向及びという全応力解析有効力解析をして、確認しております。
0:55:30	この中で、有効力解析の方はより大きな口頭値が出るというのを確認しておりますので、各、
0:55:38	検証は有効力解析の方を採用する、どのような、
0:55:45	方法というか
0:55:49	やり方で進めました。以上です。
0:55:54	規制庁の内野です。わかりました。そうするとこの 44 ページ、参考 14 っていうふうに、
0:56:01	るんですけど、結構これが条件設定の金利になっていてですね、まず先ほど重要ではない。
0:56:09	うん。
0:56:10	ここで検証され、
0:56:15	の方と仮定した条件の妥当性も確認しながら、
0:56:18	行ってちょっと御説明ってそれが見えないんですね、この 11 ページ以降ですね、何かもうこういう気持ちでやりますっていうのは、雰囲気もしくは条件の説明がない。
0:56:30	進んでいって、実は能力有効利用の全般についてやった結果、これが妥当だっていうふうに確認したっていうことなので、
0:56:40	妥当性の確認っていうのを、
0:56:45	日付でやっているという。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:47	全部達でこういう仮定条件でやっている。それが妥当である加賀君。
0:56:54	参考の 14 で、検証しているっていうことは、明確にさせていただきました、S s の S S C 値を採用したことについて冒頭、
0:57:06	お伝えしましたけれども、今流行力税務力の自由登録で 61 ページ以降やってるっていうことについても、参考 14 でその妥当性を検証してるわけですから。
0:57:17	関係性がわかるん 1000 億という抗力についてのご説明の方ご覧いただきたいと思います。
0:57:31	日本原燃イナズマです。はい。趣旨の方は理解いたしました。冒頭の、
0:57:36	地震動の選定、仮定をしてやっているというところ、10 ページの方で、採取する所を見直しますと言ったところと合わせてですね、全応力解析有効回避、
0:57:47	どのように考えたのかというところを踏まえて、その確認をサトウ重要なことやっている、妥当性確認したというところを、繋がるような形で説明できるように、所有者の方、ちょっと見直したい。
0:58:01	安部でございます。以上でございます。
0:58:04	規制庁の石津です。はい。この 10 ページのところですね、この考え方、それと参考事業との関連も含めてですね、説明するようにお願いします。
0:58:14	藤さん。
0:58:15	それについて他の方よろしいでしょうか。
0:58:19	コサクですけど 44 ページって 3 発のことっていいんですか。
0:58:27	ちょっと言いました関連で 34。
0:58:31	もし、ここに関してはお願い。
0:58:34	すいません。規制庁コサクですけど、44 ページで書いてあるのが、結局参考ではありつつ大事だというところで、
0:58:44	その時に、
0:58:47	赤丸で書いてあたり表の中で書いてあるのが、
0:58:54	検証で使うといったものに、すべてがなればいいんですけど。
0:58:58	そうじゃないものがいくつかあって、
0:59:01	ありますよというだけで終わっちゃってて、それは何で検証しなくていいんだとかっていうのはわかんないんですけどそこら辺で説明できるんですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:18	大成建設高橋です。
0:59:21	えーとですね、
0:59:25	資料で、まだ話が
0:59:30	細かくしていない部分、25 ページなんですけども、25 ページの方で、
0:59:37	影響が大きい。
0:59:40	成分、応答値の精度は水平であって、
0:59:47	右の右下の表の方にご説明しますが、項目としてA B C Dであります。 で、野瀬二瓶制度は、
0:59:57	このページでは、
1:00:00	最も設定に支配的な感じであって、
1:00:04	B の会計制度の改善制度は、望む支配的ではない。この説明をこのページでいたしております。で、先ほどの 44 ページの、
1:00:21	こちらの方ですけれども、こちら、こちらの方には、今、すべての応答値、設計で用います応答値を記載しております。
1:00:32	で、ここのページの中の上から 2 番目の矢張りのところ、
1:00:38	海とですね、舞台設定においては、水平方向が支配的となることから、地震荷重のうち、水平方向の因数とで大きな装置が教授なりを、実際に、
1:00:52	使うターゲットとする地震網。
1:00:55	選択するというふうなシナリオというか、考えで使っております。ただ、このページ事例は、実際に使っていない。
1:01:06	自身は、選定に
1:01:09	選んでいない。鉛直加速度とか、改定の制度についてもあわせて、
1:01:16	記載して、こういう状況になっているというふうな説明があったほうがいいと思ひまして、使っていない一覧でいただいたについても記載しております。
1:01:29	説明は以上です。
1:01:33	規制庁小阪です検討されてることはわかりました。山根二つ目の言ってることが、これ示された全体の中のこの部分で、
1:01:43	そうじゃないところはこうですよっていうことを言わんとしてるということとは理解しましたけど読み解けないので、
1:01:50	わかるようにしておいてください。
1:01:54	はい。それでは、すいません。それに合わせて三つ目の矢羽のなお書きも似たような話だと思うんで、合わせて何つうかね、記載ぶりを合わせ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	る形でわかるようにしてもらえればと思います。よろしく願います。
1:02:11	大成建設高橋です。承知しました。
1:02:22	政府内ですね、よろしければ所原発について確認したいと。
1:02:30	ふうん。
1:02:36	一発で言いますと、多分 18 ページになるんですが、
1:02:42	こちら一番染谷バネーです。
1:02:45	N S E W後の断面を対象とする。
1:02:49	入っております
1:02:50	右下鉛直確認モデルと書いてあるところに※を振って、
1:02:56	Q A 構造物についてなんですけど、流動化処理の物性を設定と。
1:03:01	あります。
1:03:02	N S E Wの断面を対象とすると、流動化処理だけじゃなくて、建物とかどうぞ。
1:03:10	ユニカフェ、三国と甲田部っていうの出てくる電源もあって、
1:03:14	ここではですね、この鉛直確認モデルで流動化処理をモデル化したものと、設計モデルとを対比して、大戸が何倍違うとかいうふうな評価に使っているようなんですけど。
1:03:28	そうした場延長確認レベルとして流動化処理の物性であって、やり方に高いコンクリート、
1:03:36	モデル化した方が、設計モデルとの差っていうのが広がって、倍率の評価っていうのはより保守的な。
1:03:44	有効になるような気がするんですけども。
1:03:47	流動化処理部制で、妥当なんでしょうか。どういう考えで設計して、
1:03:56	はい。日本原燃イナズマです。はい。こちらの方、左側の次あるようにおっしゃる通り、リード F A R S I T E の隣に洞道ということで、
1:04:05	コンクリートの構造物ございますけれども実際あの、
1:04:08	この道道そのものはナカガワ、全体がコンクリートで埋まっているわけではなくて、中間中空といいますか、配管ですとか人が取れるなんていうわけでして。そうすると、
1:04:20	等価構成という形で設定するのは、実情を反映したのと考えてございます。そうしたときに、現在の流動化処理どうで、全体をモデル化した方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:34	そのコンクリートの状況を踏まえてモデル化するより、今のその周辺構造物を、質量がそれぞれ、
1:04:44	パスの方が保守的だというところで現在、
1:04:47	そのような、全体をリードがそれでモデル化するというので今考えているといったところでございます。説明以上でございます。
1:04:58	都築です。わかりました。
1:05:00	確かに統括部長を考慮するっていうのは、剛性が高くなると。
1:05:05	それを周辺に建物が入ってくるようなものについてもやっぱり同じ考えということでよろしいです。
1:05:12	そういう建物がやってくるためでなかったんです。
1:05:16	はい。日本原燃の東です。おっしゃる通り現在周辺のところにつきましては、道道があるのみですので今回のように、
1:05:26	周辺構造物を流動化それぞれモデル化した方が保守的だというところで、
1:05:33	それぞれのN S E Wた面とも重要箇所、周辺構造物をモデル化してございます。以上です。
1:05:40	忠内です。はい、わかりました。えっとですね、会合資料の中では簡単使わないと思いますその考え方っていう、追記しておいていただければと思います。
1:05:50	久保委員もですねおそらくその説明はなかったかと思いますので併せて、そこの方での追記っていうのを検討していただけますでしょうか。
1:05:58	日本原燃になってました。はい、かしこまりましたまず、
1:06:02	大城としましてはこちらの方、今私の方で回答した部分、補足、地域する形で対応させていただきます。また補足説明資料の方側でも、考え方については、詳細について記載させていただきたいと思います。以上です。
1:06:21	お願いします。
1:06:23	ちなみに補足と言いましても、今朝方の提出された⑨を確認したしか記載がなかったかと思いますので、
1:06:31	スヌーピービジョンで対応してください。
1:06:43	うーん。4、10 ページ 4 ページなんですけれども。
1:06:51	それとポートへの影響分析という、
1:06:56	うん。
1:06:57	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:59	ここではその評価した結果いい。
1:07:02	んですけども、この結果を踏まえて、以降の設計で鉛直応答っていうふうに扱うのかというのは、その説明がないんですけども、それについてはどのように説明する。
1:07:35	大成建設高橋です。これ以降はですね、鉛直応答は、まず、
1:07:43	荻原佐川って、
1:07:47	設計モデルの方が、小さく出ますよというふうなことでこのページで言うておりますが、2項の設計は、この設計モデルの出た値をそのまま採用する。
1:08:00	そういうふうな方向で考えております。また、
1:08:05	このページの後にですね、
1:08:10	せ、設計に対して鉛直加速度。
1:08:14	この影響というのは小さいというふうなものも、説明をするよう考えております。以上です。
1:08:23	別です。
1:08:24	院長加速度が設計に占める影響範囲は少ないっていうのは、すでにご説明があったような気がしたんですけど、この19ページの新たに追記されるという、博士。
1:08:42	9
1:08:57	日本原電イナズマです。はい。江藤。もともと先ほどちょっと説明の中でですね江崎25ページの、ここ吊りの部門説明。
1:09:07	差し上げたんですけども、ちょっと高橋さんから今お話ありましたように、
1:09:13	鉛直方向の影響は、衛藤関本りでは小さく出ていると、ということなんですけど、実際の設計として、
1:09:25	用いるその性能共同建築の共同というところは、25ページで説明していたんですけど、ちょっと今高浜のお話した通り、ここで水平の、
1:09:37	設計としての影響としては紙幣が支配的であるというところを前段でご説明してございましたので、そこ具体的な数値をもって、19ページの後に施設、この25ページの内容ですね。
1:09:50	これを説明した上で、設計モデルとしては、鉛直応答その辺りはそのまま用いるというちょっとそのようなシナリオでご説明できる形で、
1:10:00	この鉛直方向の説明の部分については、修正させていただきたいと考えてございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:09	順調に進みます。わかりました。この 11 ページで、この設計をどう扱うについての説明も、追記すると。
1:10:19	神講師。
1:10:21	いたしました。
1:10:25	小さいですね。すみません。小阪です。ちょっとそもそもこの資料でどう説明していくんだっていうコンセプトと、
1:10:38	の、
1:10:40	ここで説明するっていうところで言うと、
1:10:43	結局は最終的に設計としてどう扱うかっていうのをそれぞれの場所言うっていうことに、
1:10:50	資料構成を大枠変えるっていうことにもなるような気がするんですけど、原燃どう考えて回答されてるのか説明してもらっていいですか。
1:11:04	はい峰大柿ですけども今の資料ではですね鉛直応答については、1089 で、これが設計モデルで敷の延長か小さく評価される原因が、
1:11:18	周辺構造物をモデル化しないこと、それによって
1:11:21	結果的に 6 件が影響を、が受けにくいことが原因という分析までをやった上で、
1:11:28	実際に設計モデルを扱うかってのは 26 ページでですね、
1:11:37	部材設計に対しての影響度が小さく、設計後で労務再生ゲーム担当であることを確認したということで、
1:11:43	説明し、ただ、数値的には、ライニングにおいて各部材の具合タイプライターに対してオイド確認すると、このことは
1:11:52	ライニングで、最終的に応力ひずみの評価結果から病状を確認するという旨を 27 ページのまとめには書いてるんですけども、そういう流れで、資料は今、現時点で構成してます。
1:12:07	いや、補足ですけど。そう。そう。そうなんですけど、さっき
1:12:12	全体で書くと言われたので資料構成変えるんですよってことだと思うんですけど。
1:12:17	そういう説明がなかったんでどうすんですかと聞いたんですけど、やっぱり戻すってことですか。
1:12:24	戻すにしても 5 ポツ 2 って何ですかっていう。
1:12:27	ところがあって、検証の確認とって、今後の評価の方針を述べられてもちょっとよくわからない。
1:12:35	ですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:39	すいません小松ですけどもおっしゃる通りなのでちょっとその辺には25ページがここにあるがために、ちょっと
1:12:47	結果的に16ページに更新を書いてますが、ちょっと25ページの内容を、前に移すことによって、そこで、
1:12:58	援助法等の責務の中の取り扱いを変え、各様にちょっと改めてなので、現行の資料からは、ちょっと
1:13:08	説明を、何て言いますかね、流れていく場所を組み直したいと思いますですんで、ちょっと26ページの整備では、ここはあくまでも、設計モデルの妥当性検証。
1:13:19	検証モデルとの比較による妥当性検証の内容にとどめたいと思います。そういうふうに直したいと思います。
1:13:27	はい。コサクですわかりました。そういう意味だと元に戻って19ページのところで、原因がわかったらその対策としてこうするんだということまでかかると。その内容が、
1:13:39	25ページ26ページに入っているのをそれを持ってくと。
1:13:44	いうことで、それ以外にも類似でその問題点が出ているというところがあれば。設計対応をどうするかまで含めて、その場で語るということと資料構成をするという方向だということで理解をしました。
1:13:58	以上です。
1:14:04	規制庁津川です。今の点ちょっと補足させていただきますと、19ですね、18ページの、
1:14:11	一つ目の矢張りの二つ目のポツのところで、
1:14:15	(5)北田氏、鉛直応答は、設計の支配的な値ではなくということの後述の方に飛ばしてしまっていたんですけども、まずやっぱり鉛直方向が、今回その設計において支配的じゃないということが前提で、
1:14:28	復旧を進めていくんで設計モデルは、むしろ水平方向が保守的に出るんで、そちらを対応するんだと、5ポツのほうに入りますと、設計モデルの妥当性補修研修なので、
1:14:40	これはあくまでその計装用というと比較において設計モデルがどうかということ語るのであって、その鉛直方向が支配的でないというのはもう、
1:14:49	前段の設計のところでやはりきちっと説明していただいた上でその前提を持って、検証用のネットの比較を行うという立て付けの方がよろしいのではないかと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:59	いうふうに考えておりますけども、そのような理解でよろしいでしょうか事業者の方よろしいでしょうか。
1:15:09	はい。日本原燃伊奈様です。はい。今、坂野補足いただきましたところで認識させていただきます。おっしゃる通り、単純に 2526 の内容を、19 ページの適用だけではなくて、18 ページに書いている内容。
1:15:24	衛藤。
1:15:26	おっしゃる通り徳山の足のぽつですね、この内容も踏まえて見直すと、全体的に、
1:15:33	方針として、
1:15:34	どのような、
1:15:36	鉛直方向については影響があったのかと、その分析の内容ですとか、設計としては青天方法は、保守的、支配的であるというところを含めて、この 4 P O S の中で説明できるような形で、資料の方は修正したいと思います。以上です。
1:15:54	規制庁津川です。はい、了解しました。
1:15:59	清家ハバサキです。ちょっと追加の確認ですけれども、鉛直くーは支配的ではないという点に関しては、先ほどあった 44 ページ波の選定のところの 2 番目の山根。
1:16:13	ここにも通じる話、要は逆に言うと 44 ページの 2 番目の山根っていうのは、2526 ページが根拠になっているというふうに理解しておけばいいんでしょうか。
1:16:28	日本原燃東です。はい、おっしゃる通り支援法が支配的であるという確認は、2526 ページで説明する内容とリンクしてるといったものでございます。
1:16:38	規制庁浜崎です。ですから 2526 って非常に重要なところになりますこれ欠陥な最終的な結果なんですけども、ただその位置付けっていうものを、ちょっと十分吟味して
1:16:49	前段の方につけるなりですね、資料として構成してもらえればと思います。
1:16:55	よろしいですか。
1:16:59	日本原燃の渥美です。サポートの繋がり等も踏まえて、どのような構成であれば、説明性が高いのか、またご理解いただけるのかというところを踏まえて、資料の方の構成については再考したいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:17	規制庁コサクです。で、今の 2526 ページを持ってくるってことなので、ここの部分もちょっと確認をさせてもらいたいんですけど、岸野さんいいですか。
1:17:29	お願いします。
1:17:31	規制庁コサクですけども、
1:17:35	25 ページの数字はそうなんだろうなと思う。
1:17:40	てるんですけど、d す。影響は小さいのは事実ではありつつ、事実として理解をしつつ、
1:17:49	評価としてどういう数 g でやるべきなのかと。
1:17:55	いうときに、
1:17:59	小さければいいんだということでもなくて、
1:18:04	そこは
1:18:05	他の場所なり、トータルとして保守性を積んでいて、
1:18:10	その保守性の範囲内で収めているものなので、
1:18:16	モデルとして妥当ですというふうに言われるのであれば、淡々と評価をすればいいんですけど。
1:18:22	そういうこ検証なく、ただ小さいからいいんですけどって、最後のなお書きで、余裕度を確認すると。
1:18:32	言われてしまうと、
1:18:36	モデルには保守性の含んでいない外枠なので、
1:18:41	ちゃんと確認しますということになって、
1:18:44	そうするとー
1:18:47	結局 1.3 倍だ 1.5 倍だなんだと言ってたところの幅を、話をしなきゃいけないとなると。
1:18:55	いので、評価がプラス 2 プラス別の評価が加わっちゃうということになるんですけど。
1:19:03	そういうこと。
1:19:05	ですか。そういうのって設工認で他やってますか。
1:19:13	これ規制庁側が答えてもいいんですけど、原燃側でも、
1:19:17	電力でも大勢でもどこでも構いません。
1:19:22	知見のある方お答えください。
1:19:30	影響評価影響評価。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:36	大成建設高橋です。他でやっているかというふうな質問に対する答え、回答であれば、ちょっと私の方でそういうふうなのはわかりません。
1:19:47	で、今回の考えなんですけども、大崎さんの方から、初めの方で言われたお話、それに対する回答があるんですが、まず、今回、この回転成分、鉛直成分っていうふうなのは、
1:20:02	若干ながら大きくはなりますが、それ以上に、今回は、C D A成分で保守性を持つ、そういうふうな目的で、今回の設計モデルを作っております。
1:20:13	なので、その推進生産を大きくとるような保守性を考慮した、この中で、今回の鉛直成分。
1:20:23	回転成分については、小浦ができるというふうに考えて、今回のモデルを採用しております。
1:20:33	以上です。
1:20:37	はい。コサクです。
1:20:39	結局各成分すべてを、
1:20:41	大きいものにするということではなくて、部材にかかる力としてトータル一番を、大きくなるようにというところと言うと、水平を強めレバー、鉛直が若干弱くなってもトータルとしては強いよっていうことを言われてるんですよ。
1:20:59	はい、大成建設高橋です。その通りです。で、今回、その確認を、40ページの、多くて、実施している。
1:21:10	結果として載せております。40ページのところにですね、実際に検証用モデルでは、速報に、
1:21:21	誘導箇所1とか労働とかがありますので、ロッキング影響が出ている形になっております。それも含めて、今回の設計モデルと、検証用モデルで比較して、
1:21:34	どのように影響があるか、その結果を比較することで、
1:21:44	そうか。
1:21:45	すいません。
1:21:50	載せておりませんので、今の話ではなかったと。
1:21:55	すいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:57	コサクですあれですよ今言おうとしたのは最終的に部材ではっていう落としたんですけど 40 ページはその手前のところの結局鉛直成分とかのを語っているので、
1:22:09	名前のことだったかちょっと違ってということですよ。
1:22:13	記載しておりません。はい。具材のところと比較っていうのは、
1:22:19	してあたりするもんなんですかね。
1:22:22	はい。大成建設新です。実際のところは訳でございます。
1:22:29	実際に検定値の方で、部会評価で比較したところ、設計モデルの場合よりシビアな結果になる。そこまでは確認しております。
1:22:39	以上です。
1:22:46	規制庁コサクです仮にそれを示すんだとしたら 5 歩 II のところになるんですかね。
1:22:54	大成建設タカハシもですね、49 ページの次のページに、
1:23:02	載せるのが妥当かなと考えた時、
1:23:06	これ 41 ページ出ちゃってますけども、40 ページの方を移していただくとありがたいです。
1:23:13	40 ページのところ、設計モデルと検証用モデルの比較について書いており、
1:23:18	3 ページのところでは、土地の比較までしか期待しておりませんので、これに続けて検定値の比較を記載するのが、より流れ的にわかりやすいかな。
1:23:30	そう思います。以上です。
1:23:40	規制庁小阪です。私としては、今の話の流れの方が、
1:23:48	設工認の取り扱いっていうのが理解しやすいんですけど。
1:23:53	岸野さんハバサキさんなり津金さんなりはどうお考えになりますか。
1:24:00	成長基準です。ちょっと私もですね、今 25 ページに示されてる数字に、
1:24:08	受けとめて良いのかわからないところが、ひょっとしたら今のやりとりの中で解消されつつあるのかもしれないんですけども。
1:24:16	ちょっと落ちない点というのが例えば 25 ページに示されている、非常に示されている数字ですね。
1:24:23	表の左側柱の下見ますと、例えば、発水平成分が 0 点。
1:24:29	これはもう、せいぜい成分について、検定値、水平成分のバキューム限界という発生充実。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:36	かと思います。
1:24:37	その人の微物改定成分の 0.00 で括弧の中に 1445 分の 1 ってるんですけど。
1:24:44	0.009 の解体成分の、検定比。
1:24:48	だと思うんですが、この 1445 分の 1 ってるのは何者かってちょっとよくわかんない
1:24:52	おそらく性成分で、
1:24:55	0.549。検定比に対する回転成分の検定比 0.00 の比率を示した。
1:25:03	そうした時に、家関わる基準値に対する比率で整理したこの検定比同士を比較して比率を上げてるってのは何か意味がわからなくてですね。
1:25:13	どういう物理的な持ってるのかなっていうところ踏まえて、ちょっとまず教えていただきたいって。それがちょっと説明はできないということであればやはり
1:25:23	先ほどもやりとりあったような形での整理の方が、多分、吉森安井。
1:25:29	説明しやすいんじゃないかなと思います。まずこの 25 ページの表も、
1:25:34	括弧の中の、
1:25:36	封じの求め方とか物理的な意味って何なのか教えていただけないでしょうか。
1:25:41	大成建設高橋です。今この表の中の数字なんですけども、今、括弧の中の数字は岸野さんおっしゃったように、水平成分 0 に対する、
1:25:53	各、B、C の値の比率です。ですから、例えば、B のところで、今 1445 分の 1 ってる書いてあるのは、
1:26:05	B の値、今、0.00、もう憔悴勝田桁で止めてしまいましたが、この下に、実際には数値がありまして、その数値を上 A と A の水平部の欄の、
1:26:18	0.54 で割った数字が、1445 分の 1 に相当します。で、それぞれの回転もともと、ぜ。
1:26:31	今この表の中で、青色、水色で表示されている制度がありまして、この 0.88 というのが、柱の最大検定値が出てる部材です。
1:26:41	その 0.88 の数字の負担は、それぞれ 0.54 とか、A と C のところの 0.01、実際には P のところの、
1:26:52	0.00 ってる書いてますけども、もっと小さい数字下にありまして、それプラス、一番下の D の地震以外の荷重と税の成分の、
1:27:03	負担率になっていくってようなことで、記載してください。
1:27:09	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:13	院長の木野です。わかったようにわからないようになっていうところが正直で、あんま、一番下の0.88というのは、下のぼつからCぼつの合計値というふうに捉えればいい。
1:27:25	そういうことから、その構成している0.54とか0.01とか、それぞれの構成比率。
1:27:33	見積もりの影響度合いとしてこの数字を読み取ればよくなって、1445分の1というのは水平成分を基準にした時に、回転成分ってのはもうこの程度仕掛けをしないというふうに、
1:27:44	一応読んでいいんだというふうに理解しましたが、そういう理解でよろしいです。
1:27:50	大成建設、高橋です。今の、おっしゃる通りです。まず、委員に対する比率だということをですね、表の欄は下のところで、括弧内の数値は、
1:28:03	成分に対する比率ということで記載させていただきました。以上です。
1:28:11	内海君です。はい。ということであればちょっとこの認めたら1145分の1とかの意味すると。
1:28:19	いわば影響度合いキュウリツっていうの示してるんだよってということもちょっと説明を加えていただければと思うんですが、その上でですねすみません先ほどのお話。
1:28:33	うん。整理の方法としては先ほど、
1:28:36	これね。
1:28:38	言ったんだなというふうに私は思いますけれども。
1:28:44	特に何かご意見ありましたら。
1:28:47	うん。
1:28:52	規制庁ハバサキです先ほど40ページの後に、
1:28:57	その40ページの検定結果を載せるという話が高橋さんからあったんですけれども。
1:29:04	その25ページとの関係。
1:29:09	その時上と。
1:29:12	40ページの検定上、
1:29:14	の載せることが、なぜ水平成分が支配的になることの説明になるのか。
1:29:20	その点をちょっと説明して欲しいんですけど。
1:29:25	会計建設課からって、今、ハバサキさんの質問に対して回答します。
1:29:33	炎症モデルとの比較を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:35	出すことが、水平成分が大きくなることの説明にはなりません。水平成分が大きくなるという話はですね、今回今、
1:29:45	表示されてます。25 ページ、こちらだけです。で、先ほど甲田のコサクさんとの話で、40 ページのところに、検定値の比較を載せるということは、
1:29:59	鉛直が、
1:30:02	実際には設計モデルで、鉛直成分が小さく評価されてしまう。だけでも、水平成分を大きく保守性とそこで、
1:30:14	何ていうか、考慮しているために、その微々たる鉛直成分に対しては包絡されるんですよ。そういうことを、最終的な詳細、検証用モデルと。
1:30:27	設計モデルを比較することによって、
1:30:32	全体的に包括的な形で、
1:30:36	より保守的な結果になっています。そういうのが、示せる示すことを、
1:30:44	以上です。規制庁浜崎です。そうすると、25 ページと 40 ページの検定比の関係ってというのはダイレクトに繋がるものではなくて、
1:30:54	40 ページはあくまでも、水平が支配的っていうことを、定性的に述べる。だから 25 と 40 ページの合わせ技で、
1:31:06	どう水平支配的っていう話に持っていくという理解を受け取ったんですが、違いますか。
1:31:15	大成建設高橋です。その通りでございます。
1:31:18	規制庁浜崎です。
1:31:20	非常にアプローチというかですねシナリオが難しいと思いますので、
1:31:26	ちょっとそこは
1:31:28	よく吟味してですねシナリオ作りしてもらいたいと思います。ちょっと現段階ではそれしか言えないんですけども、よろしいでしょうか。
1:31:38	板橋です。承知しました。
1:31:41	規制庁津金ですけれども、今 40 ページ見ると、
1:31:46	研修の比較で E W 方向について示すと。で、24 ページの方が N S 方向なんで、それに対して E W 方向を示したって位置付けで、
1:31:57	もう必ずしも 25 ページとリンクしてるわけじゃなくて、
1:32:00	設計部研修後の比較を、N F 高校 E W 方向それぞれやってみました。
1:32:06	設計モデルの方が、鉛直については、検証モデルより若干下回るんですけども、逆に水平の方では研修モデルより系モデルの方が保守的に出ると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:17	トータルで見た場合は、結局設計モデルの方が支配的な水平力も置けるんで、より保守的な設計なのでそちらを採用します。
1:32:27	そういう理屈上、そういうロジックで、5 ポツ整理されるのかなと僕は理解していたんですけども、ちょっと理解が違うんでしょうか。
1:32:44	大成建設、新です。すみません説明の中でですね、40 ページを代表して言いましたけども、実際にはこれ、24 ページと、良好な、
1:32:56	うん。なので、
1:32:59	N S 方向、E W 方向両方包括した形ですね、先ほどの検証については書こうと思っております。
1:33:08	以上です。
1:33:11	きちょうツガネです。今の説明をいたしましてもう一度整理すると、
1:33:18	今回その設計において、鉛直方向っていうのが支配的ではないというのは 25 ページの結果をもって示すと。で、延長方向が支配的でなく水平方向が支配的なので、そちらが保守的に出るような設計モデルを作りました。まずここで、
1:33:33	1 回設計モデルの説明は終わります。で、その設計上について研修をモデルとして比較したところ、
1:33:40	若干検証モデルの方が、鉛直方向は大きく出るんだけど、むしろ水平方向の方は、
1:33:46	設計モデルが厳しいので、
1:33:48	全体としてみては、設計モデルの方が保守的な設計になるんだ。だから、設計モデルを使うんだ。
1:33:55	そういうロジックになると、
1:33:57	いう理解でよろしいですか。
1:34:01	大成建設、高橋です。おっしゃる通りです。そのロジックで、私の方でもイメージしております。
1:34:10	堤です。はい。今説明理解しました。
1:34:16	規制庁コサクです。結果、今、津金から話があってようやく私も落ち着いてきたんですけど。
1:34:23	25 ページ 26 ページは前に持ってきていう話があった一方で、参考の方で、40 の後ろに 1 枚にその素材の方入れましょうという話があって、
1:34:36	戻ってくると、24 ページの後ろに部材の方入れましょうということになるので、
1:34:42	そうすると 25 ページの今の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:44	ものになってくると、いうことだから、25 ページ前に持っていくものの意味合いは違うものとして部材の評価としてこういう状況になりましたよという検証内容を示すっていう形になりますかね。
1:34:59	大成建設高橋です。おっしゃる通りだと思います。
1:35:03	規制庁コサクです。予約に落ちました。その上で、25 をその前に持ってくっていう前のものの位置付けを整理して、乗ってくださいねっていう。
1:35:13	先ほどの宿題があったと思うんで、そこを明確にして、整理をいただければと思います。以上です。
1:35:30	区長さん。
1:35:31	部長木野です。衛藤 4 冊や関連する参考資料について、
1:35:41	よろしければ、次のポツの内容の確認。
1:35:46	ん。
1:35:49	23 ページ。
1:35:51	ん。
1:35:56	今回、検証用モデルの妥当性について確認しております
1:36:01	うん。これは記載だけの話ですね、ほとんど。
1:36:05	系モデルの妥当性検証、再確認とありますけれども。
1:36:10	それを、安全性を再確認するっていう記載になっちゃうんですね、報告するまでは。
1:36:17	確認本当に継承しておって、でこぼこ付けそれらを総合しても総合しても、妥当性を知らないっていうことの確認という経緯
1:36:27	がふーんと認識していたんですが、再確認となります。にもかかわらずもう設計モデル妥当性の説明が済んでしまう。
1:36:34	それと同じことをここでせ、確認するというような、
1:36:38	うん。
1:36:39	のようにとれるんですけれども。
1:36:43	中心に書かれている。
1:36:45	それとも、4 ポツまでと、あと個別の検証ではなくて、妥当性を確認されるという趣旨。
1:36:52	なのか、その辺りどのようにご説明される予定なんでしょうか。
1:37:14	日本原燃佐藤です。
1:37:17	江藤先ほどちょっと再確認って言い回しが少し正しくないんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:24	5、5 ポツの 2 の方で、検証用モデルと設計モデルを最終的にトータルで比較して、それをもって、
1:37:38	設計モデルと、
1:37:41	活用が正しいというふうに、そういうふうにご説明しようとした流れの中で、再確認という言葉を使ってしまいました。そのあとちょっと、
1:37:50	その前に研修モデルの妥当性という項目を入れてしまったので、少し流れが悪くなっております。
1:37:58	そういう意味では少しタイトルの方の修正の方させていただきたいと思います。意図としてはそういうことで、ちょっと。
1:38:06	言葉の方の使い方の、少し劇不適切なところがあったということでございます。以上です。
1:38:16	院長の岸野です。はい、わかりました。おそらく認識は同じかなと思いますんで、ちょっとこの再確認という言葉ですね、ここも含めて、設計部、妥当性、
1:38:29	検証を行っている。
1:38:32	入手しがわかるような記載。
1:38:37	ちょっと続けますけれども、
1:38:40	物性値の検証表モデルの妥当性という説明が、前回会合でも指摘があったものに対するコメントかい。
1:38:51	だと思っんですけれども。
1:38:53	前回のヒアリングでも、
1:38:56	したという、質問したんですが、
1:38:59	選考されたところは柏崎出してますけど、それ。
1:39:03	構築プロセスを比較して、同じだから、妥当である。
1:39:07	という、
1:39:08	説明なんでしょう。
1:39:12	前回の会合のときの質問をしてまた、
1:39:15	お答えいただいてないんですけどね。
1:39:18	これに関連するページが 30、31 ページ。
1:39:28	うん。
1:39:30	ここで初めての 2 行目に、
1:39:32	以下のことから、発電炉と同様なプロセスを構築しつつ検証及び利用できる。
1:39:39	いうことで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:42	県のモデルを使用できる根拠として、以下のことを挙げて、
1:39:48	以下のことってというのが、その下の、どこまで含んでるのかってちょっと明確ではないですが、
1:39:54	それは、
1:39:56	知事さん、
1:39:57	メートル4パラグラフ目P Rボルト加工というと、
1:40:03	プログラムまた先行する発電能っていうこの4パラグラフから、
1:40:10	確認のところ、プロセスにより構築と研修及び使用ができる環境として、
1:40:18	何とかそういう理解でよろしいか確認させてください。
1:40:36	はい。日本原燃が今、長さんのおっしゃる通り、我々として31ページで記載した今、
1:40:43	ご指摘の部分を踏まえて、先行炉と同じプロセスで作成していると、いうことをもって、検証モデルというところの検証として用いるということについては、
1:40:55	加藤であるという判断をしたというところでございます。以上です。
1:40:59	規制庁の橘田です。わかりました。
1:41:03	ここに書いていることを根拠として、
1:41:06	どういうモデルが使用できると考えたと。
1:41:09	ここに書いてあることとして、1、4パラグラフ目。
1:41:15	7パラグラフ現場での根拠として挙げている。
1:41:19	いうことにいたしました。で、この4から7パラグラフ名までに、六つのパラグラフのうちですね。
1:41:26	夏目っていう、
1:41:27	パラグラフでは、
1:41:29	施設の設置状況って書いてある。
1:41:34	について、具体的な説明をできませんか。
1:41:39	それについての説明がない。
1:41:42	うん。これを除く、パラメー6からね、皆さん134パラ目6パラメー7%。
1:41:50	この三つについては他のページとかでもですね、具体的な内容をふんだんに書かれているので、
1:41:55	大体具体的に何が言いたいのかってのわかるんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:58	岡部の方の施設の設置状況についての具体的な内容の説明を求めているんですけどその説明ってありますでしょうか。
1:42:25	日本原燃佐藤です。
1:42:27	ちょっと申し訳ないんですが 31 ページ目の 1-1、2、
1:42:33	3 プラグラム目と。
1:42:37	後、
1:42:38	パラグラフのところなんです、
1:42:40	これ保証柏崎の応募反映、
1:42:45	ペア、こちらとの、
1:42:47	比較表っていうことで、
1:42:51	少し述べさせていただいたがために今こんな感じになっていたんですが
1:42:56	前回のご指摘で、羽生他提案との比較ではなくて、新レーション解析を行ってやられている。笠田木野。
1:43:08	中越沖地震の時のそのモデル。
1:43:11	そういったものとの比較ということで、ちょっと
1:43:15	今回新たに 13 ページで、傍ら、語ろうとしているところを、ちょっと 31 ページの
1:43:26	5 項、パラグラフのところちょっと今整合取れなくなっていますちょっとその修正が、
1:43:34	ちゃんと反映させてきておりませんでしたのでここは
1:43:39	少し文章の方はしっかり直させていただきたいと思います。
1:43:43	その上で、
1:43:45	進めてるんです。すいません。
1:43:48	前は、あんまり認識が変わってないような感じ。
1:43:53	受
1:43:54	柏崎にこだわる必要であるんですか。シミュレーションやってる柏崎だって女川だったりと限られてるといところあるんですけど。
1:44:04	うん。
1:44:05	宗柏崎という地盤条件が同じであるっていうのを、
1:44:11	ということが果たして今回やるのか
1:44:14	いうところなんです。で、説明は館野もっと単純なことで、このパラメー V o i c e 設置状況云々で地盤の傾斜地盤剛性においてそこには最後、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:25	通称生成係数が見られる。これは具体的にどういったことを確認したの っていうのを説明を求めていって、
1:44:33	これこれが大体同等だから、同じと判断しましたっていう内容も、目標 を求めていると思うんです。
1:44:42	それを、
1:44:44	説明を補強していただければと思うんですけどもね。
1:44:48	いっばいいただけますでしょう。
1:44:51	逆に、先ほど 23 ページに柏崎の比較云々って言ってるんですけどこの中 に、地盤の傾斜とか地盤物性といった項目は出てこないですよ。
1:45:02	ここで全然説明されていないんで何か整合塗料の文章の修正とおっしゃ ったんですけど、どういう方向になってくるとちょっと見えないので。
1:45:10	真崎の 31 ページのプログラム内容を具体的に説明できるようにしてい ただきたいというのが、
1:45:19	リクルートなんですけれども。
1:45:22	対応できます。
1:45:36	日本原燃佐藤です。そういう意味では 23 ページの中の表の中で地盤物 性につきましては、②の地盤の物性設定のところでも述べさせていただい ていて、
1:45:49	その形、
1:45:52	地層の検査、そういったものの考え方については、申し訳ないモデル諸 元の中で、
1:46:00	そうですねちょっとここではしっかり、規制庁 23 ページとの繋がりを 無理やり説明されてるように、
1:46:10	今地盤の物性は 20 数ページぐらいで説明してるとおっしゃったんです けど、さらに 1 ページの一番ベースで格好いいストウたって梅津の具体 的な数字が 23 ページ出てくるんだったら、
1:46:21	説明としてはわかるんですけど、33 ページには、設定方法とか手順は同 じですよっていうことを言ってるだけで具体的な数字は大体何か言っ てるねって説明にはなってない。
1:46:33	なので、今、31 ページの五番の具体的な説明を求めているものに対して、 あくまで 23 ページで説明されようとするんですけど、多分、また
1:46:44	変わりのない説明になっちゃって、ちょっとまた次回会合で全部一旦こ んな質問せざるをえない。
1:46:52	今日もですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:54	すべてですね、131 パラグラフの内容について、具体的に言うんですけども、説明をしていただきたいんですけども。
1:47:07	イメージは来ます。1 回ちょっと頭から離れていただいてですね、小原根井どう具体化するかっていうことだけ。
1:47:15	考えていただければと思うんです。
1:47:26	えっと、規制庁ハバサキです。私の方からちょっと前回のヒアリングで、例えば、柏崎のシミュレーション何かっていう話をしたんで今回事業者の方で柏崎もこのシミュレーションを持ち込ん持ってきたというふうに理解してます。
1:47:41	先ほどのキシノの言ってるのは、31 ページに書いてある記載内容と 23 ページ、必ずしもこれリンクされてないんじゃないですかっていうところですね。
1:47:52	あと具体的な数字っていうところで 43 ページの方に飛んでるわけです。ですんでこちらとしては 31、23。
1:48:02	43。ここら辺の整合性をきちんと取ってもらいたいというのが、大きな趣旨です。
1:48:10	いやまずその点よろしいでしょうか。
1:48:17	日本原燃佐藤です。はい。検証モデルの妥当性の話が、2331 末田発足の。
1:48:26	41 ページからに始まっていて、
1:48:31	ちょっとバラバラになっている、いう点は修正させていただきたいと思います。併せて、23 ページの中で、
1:48:43	地盤の傾斜の話ですとか地盤物性の話、そういったところの、
1:48:50	目標を、補強というか説明を加えるなり、もしくは補足の方に、そういった形成に対する考え方の方の整理を、
1:49:00	414243 に加えて、整理して、お示しするようなまとめ方にしたいと今考えております。
1:49:11	以上です。
1:49:12	規制庁浜崎です。ちょっと今の佐藤さんの説明ですとまたあっち行ったりこっち行ったりなっちゃう可能性があるんですけどもまず内容として
1:49:23	一気通貫の話にするのと、ちょっと構成としてですね。
1:49:27	やはり順番を、どう説明したら一番わかりやすいかという形での資料の順番ですね、そこを注意してもらいたいというふうに思います。
1:49:37	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:38	あとその上でですけども、検証という意味では、例えば土の物性、
1:49:45	とか、或いは水平成層だとかそれだけではなくて、応答レベルですね中越沖の応答レベル、それはひずみであったり、
1:49:56	過剰間隙水圧比であったりとかですね分布であったりとかいろいろあって、それが今回の6ヶ所の設計モデルといいますか県所与モデルといいますか、その結果と、どういう対応してるんだと。
1:50:09	だから今回の検証モデルというのは、妥当ですという話に繋がるんで、
1:50:17	条件だけではなくて、結果についての比較、それも取り込んだ形の資料をにしてもらいたいというふうに思います。
1:50:28	準備は可能でしょうか。
1:50:33	日本原燃の宮元です。土江崎自身の住吉本結果は、我々の方も見てまして、実際これf e e乙、柏崎刈羽さんで使ってやってまして。
1:50:47	護岸の変位と比較して、ご指摘だっている結果を出しております。それで我々もですね液状カーでやってる結果ありますんで、例えばシミュレーション結果とか、そういったものとの比較を今後加えていきたいと思っております。以上です。
1:51:03	はい。規制庁浜崎です。会合資料としてはその要点だけでいいんですけども、補足最低補足説明資料に関してはですねこれ検証と用モデルの検証という位置付け重要ですので、しっかりと説明の方を拡充をお願いしたいと思います。
1:51:18	私も承知しました。
1:51:23	その上で岸野さん、追加でコメントありましたらお願いします。
1:51:29	清町の木曾です。
1:51:31	はい。今のような、
1:51:34	交流整理を進めていただければと思うんですけども。
1:51:38	そう。そうですね。今回、F L I Pを使って、
1:51:43	施行等の事務。
1:51:44	構築しているのがなぜいいのかっていう質問についてはまだ答え。
1:51:51	ん。
1:51:53	単に先方と同じ手法をとりましたっていう説明に今なってるんですね。何でそれでいいの。フェイルに対しては、
1:52:01	例えばF L I Pの、
1:52:03	マニュアルとか振休会の論文だとかそういったもので、このF L I Pも適用できる地盤条件とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:10	事業者の確認されて、
1:52:13	それで確認された上で、
1:52:15	無償を採用しているんだと。
1:52:18	んですけども、その説明を求めているというのがまず第1にあります。
1:52:24	うん。
1:52:25	含む。
1:52:26	できる条件ってそういう制限はないと思うんですけど、もともと港湾系のソフト。
1:52:32	これは全部仲間組があって、
1:52:34	これ六ヶ所中山の上の方だしっていうなことをこの間ちょっと例示させてもらったんですが、
1:52:40	これ、その適用条件から外れたりしてないのかっていう確認をまず、
1:52:45	言う必要が当然ながらですけども、あって、
1:52:48	本来でしたら、議案の不備とかですね、瀬における設計コードの妥当性検証の中で説明がされるものなんですけれども、それは先ほど言ったような形でここで説明すればいいのではないか。
1:53:00	おそらくその適用条件ってそんなにないので、結果的に、シミュレーションなんかやってるは、柏崎とか清号炉とV Sだとか地盤の傾斜だとか、
1:53:11	地盤条件を、ざっと見てもですね、ほぼ同じだから、特に特異な条件がロックしてるわけではないので、適用されるっていうのを31ページ5%で、
1:53:21	説明されてると思いますので、そういった石油条件なんかを踏まえた上で、こういった項目に着目しましたという説明と、具体的に、
1:53:34	スイエスエスだとかV Sだとか、こういったところを見て、大体同等でしたっていうような説明を具体化すればいいんだと思うんですけども。
1:53:43	なぜかその話が全然こう、
1:53:47	出ないというかですね、説明していただけないような感じがあるので、岡篠崎に拘ってもらえるような感じなので、
1:53:54	その辺ちょっと認識のそごがあるように思うんですけども。
1:53:59	新名です。石野さんのおっしゃってることわかりました。FLIPは、基本的に案件さんが出してて、柏崎とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:09	海側のサイトだったら適用できるんじゃないかと。ただ六ヶ所とかは、この第1の上なんで、本当に大丈夫なのっていうのを気にされてるんだと思うんですけど。
1:54:20	43 ページ目でも示してるように、今KK7等、六ヶ所サイトの物性値比較してますけど。
1:54:28	ほぼそうですね、我々の方が強度的には、高いです。あと液化化強度試験の結果も、41 ページ目に示してますけど、若干柏崎よりちょっと高い結果になっております。
1:54:40	ほいで、海が今のちょっと違いがあるにしてもですね、もうほぼ同じようなやり方でやっておりますんで、十分フィックの方は適用できるものと考えております。
1:54:51	そういった資料の構成でまとめたいと思います。
1:54:56	清町の岸です。説明の骨子でない宮尾さんが言っていたいただいたような感じなのかなと思いますけれども、何がヤマダの違いはあると物性が同じだからいいんだというのはどういうコンプライアンスになってるか。
1:55:07	これでよくわからないと思います。そこら辺はですねちょっと再度VMの場合の中になるかもしれないんですけども、この今回の解析コードの適用範囲ですとか、
1:55:17	今回この六ヶ所に適用するにあたって問題がないっていうことなんでちゃんと確認して説明できるようにしていただきたいと思います。
1:55:25	そういう趣旨ですね今回の会合資料の中で、それを全部それをとらえ、取り下げるとするのは難しいかと思えますけど、すごいですね、そういう方向性で、きちんと説明できるようにしますというような、
1:55:38	方針だけ説明していただかないと。
1:55:40	前回の会合から全然進歩してないというような印象もありますんで、その辺ちょっと留意して、説明の方、
1:55:48	検討していただけますでしょうか。
1:55:50	日本原燃宮田です。今の趣旨はわかりました。承知しました。ちょっと結果が全部できるかといったらちょっと、もう1週間もないんですけどね、方針だけは確実に説明できるようにいたします。
1:56:06	はい。お願いいたします。
1:56:15	いう。
1:56:22	結論を続けてね。
1:56:24	沖に関連して、組みたいと思いますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:28	僕のところで
1:56:32	厚生連についての説明があって、その参考支援になりますが 39 ページ。
1:56:43	3 ポツ目ですね。
1:56:46	一斉送信 1 と S s - A で、
1:56:49	結構出てない。
1:56:56	ちょっと 1 点、内容が理解ができないので確認させてください。はい。
1:57:02	分譲の話終わったところ、S S C の。
1:57:08	液状化と状態 B 坂野社長。
1:57:13	小さくなるのでしょうか。
1:57:15	箇条書きを今作ってます。
1:57:17	S S C 体制っていうのはその地震動特性が変わるっていうのはもちろん理解してるんですが、
1:57:24	液状化と状態技術の液状化状態っていうのは、これは、
1:57:29	業者決定によるものだと思っていて、実際その申請するの榎さんの学生のサイトは何か関係がないように思えるんですが、これによるものだ。
1:57:40	ビル
1:57:41	考え方をもうちょっとかみ砕いて説明。
1:57:59	大成建設の堀田です。今野キシノさんからご出席いただきましたので、まず
1:58:07	地上からのね、進行具合というのがまず S s - A トレセン推進案これは継続時間とか、上の特定とかで違うということが、
1:58:20	わかっております。それがですね右側の、
1:58:23	いろんな液状化の状態の違いということで、上地高井 S E でした、ほぼ過剰間隙水圧が一々書いて、15 超えるような状態となっている。
1:58:35	他方 S C I につきましては、継続時間が短いということもありまして、その過剰間隙水圧比をですね、液状化、そういった計算過程におきまして、
1:58:48	継電器を超えるような、
1:58:51	不同がないということで、これ、
1:58:53	はい。
1:58:54	思いますので、こういった差異が発生することによって、液状化また状態 E 0 というのがですね、定数に伴う減少と。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:04	C & 込起こった現象これが負債があるということで、ページの方行っております。すみませんちょっとこういった回答でよろしかったでしょうか。
1:59:16	ご丁寧に説明いただいたんですけどすみませんやっぱり理解できません。
1:59:21	瞬間的に増幅する地震動であるため、この池谷岡地と状態でERPとの差異がSSCは大きくなる。
1:59:29	それは、課長管理生活の事故解析の変化なんかを追いかけていくと、S s - DとS s のC案で明らかに違う形状変化を伴っていることを確認で言われてるのでしょうか。
1:59:42	もしくは何らか、すべてのデータを追いかけてですね、この分析にたどり着いたという、そういう理解で。
1:59:50	これ、いただきたいんです。
1:59:53	御説明だとちょっとまだイメージ的なものなのかなという感じがしていますね。
1:59:58	よくわかりません。もっと具体的に説明して、
2:00:03	はい、大成建設の堀田です。今ご出席いただきました時系列でですね、S s - Aにつきましては、やりたい継続時間の長い中で、
2:00:14	過剰間隙節が上がってですね、そのまんまの大きさのような、練習を超えるような傾向というのが確認されております。
2:00:22	他方のSESCラインにつきましては、最も地震動が局所的に上がる時、時刻におきまして、間隙水圧が上昇し、残りの時間に関しましてはですね、こちらの、
2:00:35	右が示しますような状態が維持されるというふうな傾向が発生しております。
2:00:43	長仁木です。それは時刻歴のデータの揭示変化的なものを追いかけて、次。
2:00:50	右田とそういう理解で。
2:00:52	はいおっしゃる通り、ある時間関連ごとにですねそういった現象といったものを把握した上で、実績の方を実施してございます。
2:01:01	院長の知久です。はい、わかりました。そういうことであればですね行ってることもイメージが大体つくんですけども。
2:01:08	そこら辺はですねちょっと会合資料ではなかなか難しいところもありますが、今日出てきた補足説明にもそこまでの分析は当然なって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:18	これまで求めてきた結果の評価。
2:01:22	私、そういう内容に当たっていられた結果が妥当か。
2:01:26	説明の公表になりますので、
2:01:29	このですね補足説明資料の中において、その過剰間隙水圧のケージ変化ですとか、或いは過剰生活に限定センターの仕組みの進展前ですとか、
2:01:40	そういった方的な部分を確保ですね、説明できるように、ちょっと引き続き分析考察を進めていただきたいと思いますけど、いかがでしょう。
2:01:51	はい。大成建設の太田です。承知いたしました。
2:01:56	院長の木曾です。同じ場所でもう一つわからないです。
2:02:00	この参画をした。
2:02:02	地震動対称性があるとね、間隙水ぜびご 20 日に左右非対称な。
2:02:11	本格的な作業非対称。
2:02:13	地震動の非対称性ってのはどういう関係がある。
2:02:17	の非対称性ってそもそも何してるのかを含めて教えていただけますか。
2:02:23	はい。大成建設の堀田です。S C ワードの場合なんですけど、地震動、今の下水道に関しまして、左によるカミデによるか、これもですね、ここでは非対称性というふうに称しております。
2:02:38	つまり、プラス側に W E B 最大値と、マイナス原油、最大値が行われる水道に関して異なるといったことが、S C I の一つの特徴と考えております。
2:02:49	カンセキ自体は基本的に査定対象なモデルですので、そういった地震動に伴って、真ん中にこれ示しております改良市場にですね、引っ張られるような検証の圧縮でぶつかるような現象ということで、
2:03:05	うちが一番周辺の過剰間隙水圧比が必ずしも下げる対象にならず、医師対象となる言葉あり得るだろうと。特にそれは、S S C はどのような、
2:03:19	かなり非対称性があるような日ですと、そういった計画というのが発生し得るのではないかということで、このような文章の方過失記載をさ、
2:03:29	読み、
2:03:31	院長の内野です。はい、わかりましたありがとうございます。佐口と言いながらも、ちょっとイメージが分かった程度なんですけれども、野瀬先生生産 C T O のこの時刻歴は計幾らですと今おっしゃっていただいている傾向が読み取れるものなんでしょうか。
2:03:47	はい。S C B につきましては、特に F A に比べる提案選択以降、地震動として、傾向があるかというふうに思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:59	のセミナーに続き、わかりました。これもですね、時刻歴は形のその特徴と、あと実際のその冒頭の時刻歴等へ、
2:04:09	なんかも踏まえて、実際のその解析データに基づいてこの考察文書を肉付けしていただくように補足の方で結構ですけども。
2:04:20	準備の方を進めていただければと思います。
2:04:23	よろしくお願いします。
2:04:25	はい、大成建設信田です。承知いたしました。
2:04:29	同じくさっき 39 ページ、規制庁の牛田です。同じく 39 ページについてもう一つ質問なんですけど、
2:04:36	この 39 ページは、S s の新地加振時ということで、
2:04:42	下の表にありますように、液状化ケースから非液状化のケースまで並べたときに、
2:04:49	久郷東地が必ずしも液状化の状態でも最大になる。
2:04:56	例えば、荻野深見は状態 B 値が
2:05:01	税財政安定化文化は、非液状化がマックスになっていて、
2:05:06	前の方のページにあった S s - A とは、ちょっと違う検討が出ているわけなんですけど。
2:05:12	ここに対する評価というのが、39 ページ。
2:05:16	業務普通の文章ね。
2:05:18	延長コードについては設計経費である 1 号炉、
2:05:24	今言った 30 と下の表で、
2:05:31	B の付加曲げとか、
2:05:34	うん。
2:05:36	最大水平加速度。
2:05:39	これは鉛直通りは含まれないと思うんですけど、それぞれについて、
2:05:43	どのように、
2:06:02	会計建設とかは強いです。
2:06:05	文章の中に鉛直応答数しか書いてないんですけども、赤間根井に対しても、設計上影響はないので、鉛直応答と同じように考えております。
2:06:18	以上です。
2:06:21	清町の岸野です。やっぱの変形も同じ評価なんじゃないでしょうか。
2:06:34	開成建設タカナシです。A と F の連携ですけども、との連携は深めとか、鉛直動とは違って、影響あるもの、議論のある。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:45	項目だけを考えております。ただ、今回出ている、この0.1、6.15と6.17、液状化と状態P Oのところですけども。
2:06:57	ここの差というのは、1%。
2:07:00	未満だと。
2:07:03	3、現時点ではわからない。
2:07:06	はい。なので、もうここ同値そういうふうに考えてございます。
2:07:14	以上です。
2:07:16	清町の岸野です。わかりました。
2:07:19	例えば正しいかわからないけど、これぐらいの誤差は、計算誤差。
2:07:25	というような、
2:07:26	とらえ方をすれば良いということですか。
2:07:29	はい。大成建設の堀田です。はいそのように考えておまして、実際にですねこの挙動がFの解体の数字がこれがですね、特異な挙動でないということ、
2:07:41	真ん中の方にございます改良地盤の最大相対Aグループということで確認をいたしております。以上です。
2:07:49	清町野木主務です。
2:07:52	すいません。今言われた真ん中の図が意味するところがよくわからないんですけれども。
2:07:58	この辺りではないとこの図から読めば良いんですか。若干の差異があるように見えるんですけど。
2:08:03	今こちらの図線が二つ、書いてあるような形なんですけど実は4本重なっております、赤と黄色がですね、ご報告一体、一致してございます。また、
2:08:16	青く緑がこれも同じく一致しております、今の液状化赤の線と、状態ピーマンというのはですね、地盤の相対変位として、基本的には同等の挙動を示している。
2:08:29	全体として確認したとして考えてます。
2:08:33	以上です。
2:08:36	内野です。はい。ちょっとこの図だけで言うんですけど、同等というふうな同等と言えば同等で差があるといえば下がるというふうに、丸井グループに動き分かれているところもありますので、
2:08:48	先ほどですね高橋さんもいただいたような内容も含めて、
2:08:53	ちょっとこちらは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:55	鉛直だけで他のものについても設計に与える影響度合いですとか或いは
2:09:00	差が出てるといってもそれが費用極めて軽微であるということも含めて、問題ないとしているのであれば、そういった評価の説明をですね、補強をしていただければと。
2:09:15	はい、大成建設の小田です。承知いたしました。
2:09:21	ふうん。すいません。
2:09:24	規制庁カミデでちょっと割り込まして、私も、
2:09:28	39 ページの下の表の結果表。
2:09:34	なぜその液状化ケースと非液状化ケースで設計すれば問題ないのかっていうところは、
2:09:41	よくわからないところです。
2:09:46	今説明を加えるということだったんですけど。
2:09:50	まずは、なぜ液状化非常化でふさわしいのかっていうところの判断の根拠ですね。
2:09:57	きちんとして欲しい。
2:09:59	というのがまず一つお願いなんですけど。
2:10:02	ちょっと。
2:10:03	確認してみたいのが、今回の状態 B ワンっていうのが、
2:10:07	いくつかの項目でチャンピオンになって、
2:10:11	この B ワン。
2:10:13	がチャンピオンになってしまうと。
2:10:15	本当に B 湾がふさわしいのか、B 湾の付近に、もっと影響が大きいものがないのかっていうところも、どうしても気になってしまうんですけど、そのあたり事業者側はどう考えてますか。
2:10:37	日本原燃佐藤です。
2:10:42	B 案で今、大きくなっての基礎張りの最大エンチ
2:10:48	鉛直。
2:10:49	あ、すいません。
2:10:51	遠くなってるのが
2:10:53	地盤の変形ですガイド地盤の変形のところ。
2:10:59	水平方向の話で言えばそこが、6.17 と大きくなっているかと思うんですが、
2:11:05	今施設の一番設計で切り、重要になってくるような層せん断力ですとか、そういったところを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:18	あとはプレートのひずみですね、ところ見ますと、やはり液状化、
2:11:24	している部分が大きくなっているのか。
2:11:29	等気相部の水平加速ですと今度は非常が大きくなってるというように、水平方向、今着目すべき水平方向の応答についてはやはり、
2:11:40	液状化等非液状化といったところを押さえれば大丈夫だというふうに、
2:11:46	判断しております。ただ、この表の中ですいません、鉛直の話とか、あと深まれの話か、ごっちゃになっていてちょっと整理ができていませんので、
2:11:56	そこら辺をちゃんと整理した上で、そういった考察を加えて、
2:12:05	駅長等非液状化の方をされていけば良いというようなそういう分析を、付け加えさせていただきたいと思います。以上です。
2:12:17	規制庁、カミデです。お聞きしたのは、状態Bは
2:12:22	以外に、控除すべきものがないのか、BはBツーンっていうのを
2:12:27	テストでやってますけど、この結果を見るに、もう少し見るべきケースはないのかと。
2:12:34	いうことは考えられないって結論でいい、いいんですかね。ちょっとその辺り、何でそう思えるのかっていうのをもう少しわかりやすく説明いただきたいんですけど。
2:12:45	いかがでしょう。
2:12:50	日本原燃佐藤です。
2:12:52	構造、
2:12:54	部材として一番厳しくなるようなそういう、新果樹。
2:13:00	それについては、
2:13:04	液状化状態の調整なりを見ていただくとこれが一番大きくなってますので、
2:13:10	そういう意味では、そういう意味で、大きくとらえた時には、机上化状態をとらえておくのか。
2:13:23	感じません。規制庁コサクですけど、そういう説明をちゃんとしてないからいけないんですよ。前半部分でいろいろと話しましたが。
2:13:34	25 ページで書いてあるところで、水平、鉛直っていうの納期がどれぐらいであって、
2:13:42	水平カー。
2:13:44	主体なので鉛直っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:48	保守性に包絡されるんだと。
2:13:50	いう話がありましたよね。で、ここは成分がA B C Dということで、水平回転鉛直地震以外と。
2:14:00	ということですけど、この関係がですね、先ほどのページの総せん断等、
2:14:10	何でしたっけ。
2:14:11	各要素書いて深間G e l l e rなんだと書いてあってですね。
2:14:17	変形もあるわけですよっていうのでちょっとパラメータが違うので、
2:14:22	それぞれがどういうふうに聞いてくるのかっていうことを同じように話をしないと。
2:14:27	小野村2層せん断力がって言われても、
2:14:32	ちゃんと根拠立てた説明になってないっていうことだと思います。で、その点では総せん断力を見ていけばいいんだっていうのはもう整理ができてるんですか。
2:14:48	日本原燃佐藤です。
2:14:52	はい。
2:14:54	そういう意味では一番、部材の鉄骨部材に効いてきますのは総せん断力になりますし、あと、
2:15:02	例数については応答比ずに、これが効いてくる話になりますので、そこを押さえているという。
2:15:11	ところで、
2:15:14	我々の方としてマスは大丈夫だと判断しております。
2:15:19	以上です。
2:15:20	規制庁コサクですけど我々としてはっていうのをちゃんと説明してもらうためには、
2:15:26	とのパラメータがどう効いてそれが、
2:15:30	この程度、
2:15:34	の寄与度なんだという、先ほど25ページのような話っていうのを整理して説明が3対1にできるっていうことでいいんですね。
2:15:45	日本原燃佐藤です。はい。整理してお示しするようにいたします。
2:15:51	以上です。
2:15:57	規制庁コサクですけど、神谷さんはそれを提示されて、
2:16:01	ということだと思いますけど。
2:16:04	そんな方向でいいですかね。はい、規制庁幹事ありがとうございます。
2:16:09	本市は、コサクさんもらった通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:14	もう一つ、
2:16:16	細かい点で、先ほどのやりとりを聞いて、キシノとのやりとりを聞いていて思ったのが、
2:16:23	変形、改良地盤の変形なんかはP湾がマックスだけど、1%ぐらいだしと。
2:16:31	というような話をされていましたが、今一番大事と言われている層せん断力であっても、液状化ケースと三つのケースで、1%も差はないというようなこと等もあるのでこれも、
2:16:45	パラメーターが違うので、どれぐらい重要とかとかっていうことはあると思うんですけど、
2:16:52	ちょっと、なぜこれでいいかっていうところを数字すべてデータ上で説明しているので、きちんと数字の意味も含めて、そういうことかと、わかるような説明をしていただくようお願いしたいと思い
2:17:06	ます。このページに関して私からは以上です。
2:17:14	日本原燃佐藤です。はい。
2:17:16	ちょっと分析した上でご説明できるようにいたします。
2:17:19	以上です。規制庁小沢さんどうぞ。
2:17:23	すいません規制庁コサクですその点で念のため名なんですけど今 25 ページ映していただいてて。
2:17:30	ここで、各成分、赤くてるんじゃないか、の数比率っていうことで書いていてですね。
2:17:37	ええ。
2:17:40	これな、当選では白戸を貼りを枠囲ってますけど。
2:17:47	他のものは、
2:17:49	田井評価対象じゃないっていうつもりなんですか。
2:17:55	まずそういうその認識確認してからちょっと話を進めたいんですけど。
2:18:00	ということでしょうか。
2:18:04	大成建設高橋です。25 ページ目の山根の上から三つ目のところ、今四つあるうちの、この三つ目のところなんですけども、旧的影響評価に、
2:18:18	波及的影響を評価する水平連携に影響する部材は、フレームの柱を張りであることから、こちらの部材を対象とするというふうに、
2:18:29	記載しました。ちょっとこの説明だけでは、実際に説明が、
2:18:37	足りてないかもしれないですんで、口頭で説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:42	波及的影響ということで、今回の竜巻学校は、地震時に、冷却塔本体の方への影響、例えば接触とか、いうふうなのは、
2:18:55	しないこと、そこがまず大前提だと思っております。その際に、竜巻が効果を、壊れたり、変形しすぎたりっていうふうな、
2:19:08	どこで評価するかと考えたとき、
2:19:10	水平変形に対しては、柱を張りの、このフレーム状態のものが、
2:19:20	冷却塔本体へも、
2:19:23	近く近づくためというか、水平変形に対して寄与する、構造というのは、白土大庭りである、そういうふうに考えております。
2:19:34	実際に小針というのは、柱のない位置についている、ありがとうございますので、
2:19:44	学校全体の挙動に水泳共同とか、円形には寄与してこない。
2:19:49	また、プラス柱も、それも通り新柱の1ではない。それはそのところを追加している。
2:19:57	柱でございまして、またブレスも、1括り水平物の方なんですけども、直接大きな変形に寄与していないので、
2:20:08	今回は白戸大庭りに着目して、ここのところの大枠を囲って、ここだ。柱と高まりをターゲットにした、
2:20:20	IIです。こちらの方を用いることにしております。
2:20:26	説明は以上です。
2:20:28	はい。5コサクです。わかりましたあれですよ。構造体としてへの変形を見ていく必要があるということなので、
2:20:39	変形のパーツというところ。
2:20:43	て理解しました。その他のパーツは変形の中で破損して落下すれば別ですけど、
2:20:50	そうでなければいいということなので、
2:20:55	反対基準が、次、具体的に波及影響ということを考えれば別になるんでしょうからそれで、
2:21:01	スタイルも見たということで理解をしましたけど。
2:21:07	それで少しは安心したんですけど、なぜかっていうと、
2:21:11	古川李とか取ら数とかになると、38分の1と言っていたのが、7だったり9だったり10だったりするので、比率が結構高くなってきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:23	いうところがあるんですけど、ここから、結局今何、何で言ったかっていうことになるんですけど、この比率を考えてですね、
2:21:33	中主体であると思われているの成分っていうの、
2:21:39	先ほどの液状化非液状化その中間といったところでの差分の程度と。
2:21:46	鉛直の方の差分の程度にこの比率を考えた上で、
2:21:53	それでもの保守性の方が高いのかどうかっていうのを整理をしないと いけなくて、
2:22:00	そういった程度感っていうのをちゃんと認識をしながら、
2:22:05	定性的にだけ話をしてもいい。
2:22:08	最終的に通りませんよと。
2:22:10	いうことを言いたくてちょっとお話をしました。
2:22:14	ちょっとその前に説明でしたけど、
2:22:16	ご理解いただけましたかね。
2:22:20	日本原燃佐藤です。ご出身の方を踏まえて、しっかり整理の方をしたい と思います。ありがとうございました。
2:22:27	以上です。
2:22:31	施設ハバサキです。
2:22:33	あと先ほどもちょっと 39 ページに戻っちゃうんですけども、これ A S C O の結果出してるんですけども、補足説明見ると S A の結果も出て て、先生わあ、
2:22:44	液状化は全部チャンピオンなってるわけですね、この評価指標の中で は、こういうところでやっぱり十分注意してもらいたいんですけども、 まず先生のような、周期特性が少ないものに関してまずこういう表を出 すんならいいんですけど何で C 案を出したのか。
2:23:00	C 案を出した限りは、チャンピオンのケースが変わってるならそれは何 でこういう理由ですっていう説明を求めることになるんで。
2:23:08	ちょっとそこら辺ですね、この説明資料作る上でも十分吟味の上、例え ば C O 2 するならそのちゃんとした説明ですね。
2:23:18	ちゃんぽんが変わる説明、それを含めて説明するようにしてください。
2:23:23	よろしいでしょうか。
2:23:27	日本原燃佐藤です。はい、承知いたしました。
2:23:30	以上です。
2:23:40	結城沖様にする。
2:23:41	私から 5 ポツと関連する参考資料について、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:46	6月のまとめまで含めて、もう一度
2:23:54	日本原燃の宮本です。先ほどですね、研修モデルの妥当性のところで、私の方から、真の意味を示すというちょっと発言してしまったんですけど、結果についても、今度の審査会合までに、
2:24:07	示したいと思いますので、よろしくお願ひします。岸野さん、浜崎さんからのコメントを踏まえて、修正したいと思います。
2:24:17	院長の岸野です。
2:24:18	鍋島ストウ支社長の範囲までなんでしょうか。ですね、例えばシミュレーションの結果等、例えばうちでやってるの液状化の原因っちゃうのがどういう関係になってるとか、そういったところの、
2:24:35	減ってるモデルの妥当性みたいなのところの検証もしてみたいと思っております。
2:24:45	施設のキシノです。
2:24:47	資料を見て、うちから何とも言いようがないんですけども、
2:24:51	鈴木 of シミュレーションの結果を示して、
2:24:54	六ヶ所にこのりやこのFLIPのモデル構築プロセスが適用できるという説明になるんでしょうか。
2:25:04	規制庁浜崎です。あのねですね、やはり物性値だけではなくて、応答レベル、それは歪であったり、影、過剰間隙水圧比でも、加速度でもいいんですけども、そのレベルが、
2:25:19	大きく違ってたらあんまり意味がないわけですから、そういう結果の比較も必要だと思いますので、それは比説明の方を求めたいと思います。
2:25:31	日本原燃宮谷承知しました。
2:25:47	今、6ポツの話して、
2:25:49	広報まで。
2:25:51	よろしいですか。ちょっとねすみません。浜崎です全然細かい素材の話です43ページの、
2:26:00	液状化特性一番下の行の参考10って書いてあるんですけど、これはちょっと世帯を説明してもらいたいんですけども、参考10、39ページですよ。
2:26:21	日本原燃杉田です。こちら、参考12の誤植でございます。申し訳ございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:28	修正させていただきます。以上です。規制庁浜崎です。他にも何ヶ所かちょっと誤記らしいものあったんでよく資料の方、チェックをお願いします。以上です。
2:26:49	よければ二分確認監査していただきます。すいません。規制庁、上出です。
2:26:58	6 ポツII のまとめ。
2:27:02	なんですけど、
2:27:05	基本的には、
2:27:07	前段の方に、
2:27:11	連携の目的なり、どういうモデルを構築するんだっていうところを、1 ポツなり 2 ポツでこう整理してきたことに対して、
2:27:22	結果どうだったから OK なんだっていう説明をきちんとしてもらう。
2:27:28	で、考察をしてもらうってところが大事かと思うんですけど。
2:27:33	今は何かやってきたことだけをただずらずら書いているだけっていうことを、
2:27:39	なので、もう少しその前段で説明したことの対応ということで、だからいいんだっていうふうに、説明をしていただきたいんですけど。
2:27:49	今のお話を踏まえてこんな感じでみたいな、考えられるところはあるんでしょうか。
2:28:24	日本原燃の渥美です。はい。すみませんちょっと今、現状どういうふうに対応するのかというちょっと方針的なところだけになってしまうかもしれませんが、
2:28:34	やっぱり 1 ポツ、5 ページ 6 ページですかね、もともとこの施設というのはのために付けて、できてるのかという意味で、
2:28:44	はっきり影響及ぼさないために、を申してるというところですので、そのためには今回、設定した設計モデルにおいて評価すると。
2:28:54	いったところが妥当である検証できたというところを、
2:29:00	しっかりまとめとして記載するのかなというふうに考えてございます。私の今、現段階でどのように、まとめのところで、そもそもの設計の方針と、実際やった検証内容をちょっと結びつけるかと。
2:29:15	いうところを、ちょっと検討し、文書については、追記。
2:29:20	違う形で対応させていただきたいと思います。ちょっとそのような保守のご指摘だったかというところについて、ご確認させていただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:30	はい、規制庁カミデ座の趣旨は大体伝わっているんじゃないかと思えます。1 ポツ 2 ポツの文章を読んで、
2:29:40	6 ポツに何を書くべきかっていうことをきちんと見てください。例えば 7 ページ。
2:29:47	そうですね。
2:29:48	これはこういうことをするためのモデルを構築しますっていう宣言してるわけですから、やっぱりこれに対応した結果が出てるかっていうのが必要ですし、
2:29:58	あとは 9 ページのところでもですね、どんなモデルを作んなきゃいけないかという検証しなきゃいけないかっていうところをみずから整理しているわけですから。
2:30:09	これに対応した結果、考察っていうのをきちんと書いてもらう。
2:30:16	いうところだと思います。あと、ちょっと加えて言うと、今の 27 ページ、今の話で全面的に見場合は、内容も変わるとは思いますけど。
2:30:29	例えば二つ目の矢バネみたいに予想された挙動が獲られて、書いてますけど、先ほど 39 ページでしたかね、ああいうところを見見ると、
2:30:41	私ももともと考えていた応答でもないんじゃないかと思われまして、書いている内容も正しく書く内容も正しいこと。
2:30:52	事実をですね、きちんと書くところを認識いただけない、書いていただかないと。
2:31:01	それで検証ができましたねという判断はできませんので、その辺りいただければと。
2:31:12	日本原燃夏目はい。ご趣旨の方お作りいただきましてありがとうございます。おっしゃる通り方針に合わせて、今回あった検証内容というもので、
2:31:22	そのままハウシンところがしっかり評価できるものかというところも含めて、記載の方、
2:31:31	まとめの方は、修正、
2:31:34	また
2:31:35	予想されたものと、違う場合についてはその考えについても併せて、記載の形で対応させていただきたいと思えます。以上です。
2:31:47	規制庁コサクです。ちょっと補足すると、
2:31:50	今日お話をしたことっていうのがやっぱりポイントだと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:54	言っていてですね、水平にちょっとどう考えるのかそれがどういう企業になっているのか。
2:32:01	ていうところが、結局は今、移されている 39 ページの理解も含めて、
2:32:06	全体に当てはまる考え方なので、それが 8 ページとか、
2:32:15	もっと例えば 7 ページからですけど、七、八とかで、そういうことを考えていくんだっていうことを示してるものだと思います。
2:32:24	で、水平鉛直っていう話だと、9 ページの、
2:32:29	二つ目のひし形の二つ目の、
2:32:32	やっぱね、こういうところに括弧書きで最初に出てくるのかなと思いますけど。
2:32:37	そういうのを踏まえながら、これ、今日お話をしたように
2:32:44	飛来物防護ネットの架構っていうのが、どういうその地震動で挙動するのかっていうのを、
2:32:51	解析分析考察をし、それによって取り扱いをしていくと。
2:32:56	ということだと思いますので、そういったことをやっているのを、しっかりと表現をされると。
2:33:04	いうことが必要なのかなと思いますのでよろしくお願いします。
2:33:12	日本原燃イナズマでした。かしこまりましたので今補足いただいたところを踏まえて、見直すようにしたいと思います。以上です。
2:33:28	よろしければ、幾つかさせていただければと思います。
2:33:34	院長の掛川です。
2:33:36	ちょっと、
2:33:37	ターンがですねもう 18 時回ってるっていうのもあるんですけど。
2:33:42	日本原燃の方はもう提示過ぎてるかと思うんですけど、今日ヒアリングはどこまで進めますか。
2:33:58	日本原燃の浅見です。はい。こちらとしましてはやはり本日ご用意した説明資料につきまして長さんの方の了解とられれば内容の確認をさせていただきたいと考えてございます。以上です。
2:34:15	規制庁の竹田です。0 ということはこの後 2 部も確認して、耐震建物 23 も見てそのあと MOX に入っていくと側溝までということですか。
2:34:30	日本原燃伊奈様です。はいまず第二部の方内容を確認させていただいた後、衛藤、また後希望としましては MOX 側の介護資料の現状の内容につきまして

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:43	資料を映しながらやりますけどその方、確認させていただきたいというふうに考えてございます。
2:34:52	長カミデさん、今日予定してる資料はそれだけではなくて、耐震建物に入れさんなり、あと、
2:35:01	地震 0002 の別紙 1045 も確か入ってたと思います。今イナズマさんは、介護向けのパワーポイントの資料の話しかされてませんでしたけど、その辺りの補足説明資料は、
2:35:14	今どういうステータスでしたっけ。
2:35:31	日本原燃和気です。
2:35:34	説明資料 1 のですね 23 については今日午前中に提出してましてこれ東京、引間、今ご説明している審査会合資料と整合とる形で、
2:35:44	解析結果も含めて、まとめたものなんですけどただちょっと 1 点すいませんお断りと関係ないのは最終的にその延長交通についての、
2:35:54	最終的な応力ひずみの結果から、それが我々のシナリオでいうと、余裕、理由の中に入ってるってことまではちょっと考察がちょっと抜けておりますのでそこだけは、
2:36:08	うちが開けない部分が残っています。
2:36:12	ということなので
2:36:14	さらに、今日審査会合資料の中でも様々コメントいただいておりますので、
2:36:23	衛藤藤さんについては、ちょっと改めて、
2:36:26	見直したもので、
2:36:28	確認いただいた方がいいのかなというふうに今思っております。
2:36:34	引き続きすみません日本原燃の谷口です。
2:36:38	は、地震の 00-02 の別紙 4-14 と 15 ですけども、
2:36:43	本日ご説明したかったのは今介護資料の中に、1 定年制するこういうふうな考え方でこういうふうな評価をしていますということでお入れしています。評価の対象になる場所とそのクライテリアの考え方は、
2:36:58	一応実際の骨子になる内容は、会合の資料の中に入れ込んで、今日ご説明できるかなというふうに思っております。
2:37:07	別紙の中にはそれをどこかに記載をしていますのでそちらは今最新の別紙 4 の資料として、こちらにも金曜日にもお時間いただけていますので、
2:37:19	まず会合の資料として、我々が思っているところの骨子のところをご説明できればというふうには思っておりました。以上です。
2:37:31	はい。規制庁、上出です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:34	第1部の資料のやりとりも踏まえて、
2:37:38	まずは介護士を中心にとということでどれぐらい時間見積もられますか。
2:38:02	伴さん。日本原燃イナズマです。はい。予備最初井川の第二部等MOX側の資料を合わせて、今は1時間程度でやりとりをさせていただきたいと考えてございます。
2:38:17	今、19時ぐらい。
2:38:20	規制庁、今の時間の三つ目はわかりましたけれども、
2:38:24	MOXせて、
2:38:27	ちょっと資料がまだ安全間に合っていない状態でさして介護にかけられるかどうかというところはちょっと、
2:38:34	自分があるんですけどもその点いかがでしょうか。
2:38:45	はい。日本原燃富樫でございます。今日資料の方がちょっと間に合わずにも大変申し訳ございました。ただちょっと
2:38:53	本日画面共有の方では我々の前回のコメントを踏まえたところを反映させていただいて、全体的なイメージという形の方で、
2:39:06	これはもうでしょ、こちらの方で説明できるのかなというふうに思っているとところがございましてぜひとも本日の内容の管理内容につきましてご確認していただきまして31-1の会合の方に向けていきたいというふうに思っておりますのでよろしく申し上げます。
2:39:22	規制庁多賀です。
2:39:24	こちらからもいくつか指摘してると思うんですけども。
2:39:27	日通の
2:39:29	課題とってるところがなんで、
2:39:32	そこはきちっと説明できれば、
2:39:35	会議にかけられると思ってるんですけども、そこが十分でないんで、資料採決って形になってると思うんで、その辺をはっきりさせていただいて、方針をきちっと決め、説明していただくと。
2:39:46	ということになろうかと思しますのであくまで会合にはかけるということでは理解しましたので、
2:39:54	合理的な説明をしていただくようお願いします。
2:39:58	はい。日本でトガシでございます。了解いたしました。
2:40:04	規制庁、網です。そういうことなので提示過ぎてしまいますけど、できればというか、19時を一つの目安としてですね。
2:40:16	すべて終わるように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:20	スピーディーにやっていければと思います。とりあえず第二部の方に入りましょう。よろしくお願いします。
2:40:33	はい。日本原燃イナズマです。それと本日で雇用者資料の資料2の方ですかね、のアセス戻っていただきまして、第二部の方。
2:40:42	前回のヒアリング以降、修正した点についてご説明させていただきます。
2:40:48	46ページでございます。
2:40:54	石津福村です。すみません資料我々呼んでますので、こちらから、
2:41:00	特に
2:41:02	事実確認させていただくか、もしくはニューシャとしてここはちょっとしっかり説明したいというところがあれば、説明していただけますか。
2:41:13	日本原燃夏目です。はい。東邦日鷄連事業者側から、特に中心というところございませんので確認事項ございましたら
2:41:23	また、齋藤オオハシいただきたいと思います。よろしくお願いします。
2:41:29	規制庁の竹尾です。それでは第二部につきまして規制庁側から確認ございましたらお願いいたします。
2:41:42	キシノさんって特にないだっけ。
2:41:46	岸野です。すみません2点ほど確認してください。
2:41:50	その次のページ。うん。
2:41:56	グループ別にしてますが、下の方は上へと下から13層の辺りで、最大に行って、右下の軸力の方が一番下の方が、
2:42:07	おっきくなってるように見えますけれども、説明の場所ってのは白尾さんそれで3層見るべきかと思っています。これ、正しいですか。
2:42:20	うん。私の名称等もしれませんので、記載が正しいかどうかどう読めばいいか教えていただければ、指摘事項、こういう。
2:42:30	すみませんね。
2:42:32	そうなんですそれそれぞれアドリブっていう大成建設高橋です。この記載が誤記です。
2:42:38	曲げモーメントが最大になっております町教育が最大になっておりません。
2:42:43	以上です。
2:42:45	通勤わかりました。おそらく事故。
2:42:49	今、磯部矢吹コピー直すということかなと思いました。
2:42:54	適当と思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:57	そうですね。
2:42:59	51 ページ、19、家田衛藤結果は、
2:43:07	旧条件で説明。
2:43:15	なさすぎると、
2:43:16	大成建設高橋です。こちらの方では、瀬野教授、香月の場合と両方包絡した形で評価しております。なので、個別に評価ではなくて、
2:43:28	小浦に対して、調査になっておりますので、そのように平針のほうに追記するようにいたします。以上です。
2:43:37	次、これはわかりました。ただ、崩落する前の計数の建設母集団は何なんですか。
2:43:47	参考で断面を入れるという。
2:43:51	えっとばらつきもまず標準ケースは標準平均値ですけどその砂につきましてこれは40万。
2:43:58	これを事細かに変えていくとは言いませんけれども、そこら辺を概略に説明するという、
2:44:10	大成建設高橋です。承知しました。今、補足説明資料の中にはですね、平成13%をやりまして、その中からどれが大きな値が出るっていうふうなのから、
2:44:24	何も受けると。
2:44:26	一応評価というか、そのような事態も、記載しておこうですが、こちらの方も、対応資料の方に記載しておりませんでしたので、
2:44:36	その辺がわかるような記載に修正いたします。以上です。
2:44:42	はい、わかりました。お願いします。
2:44:45	内海ですけど今、
2:44:47	出てきた補足説明資料の方に説明があってということなんですが、
2:44:52	補足説明資料の6月の説明になる。
2:44:56	後ろの方、確か198ページ特に参考資料1っていうかっと思いますが、
2:45:02	なのか、別の場所なんか作りたい。
2:45:14	性格のページなんですけど結構です。参考資料1かどうかはそれだけでも結構です。もしわかりましたら教えていただき、
2:45:26	大成建設高橋です。えーとですね、参考資料。
2:45:30	ちょっとこれ確認させてください。
2:45:34	はい、わかりました。わかりました。
2:45:38	日本原燃イナズマは、ただいま保健補足説明資料の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:42	参考資料1の中で記載してございますので、こちらの中でご発言いただければと思います。以上です。
2:45:50	水口委員。はい、わかりました。ありがとうございます。第2ページ。
2:45:57	規制庁ハバサキです。
2:45:59	よろしいですかこれ前回ヒアリングでも申しましたけれども、
2:46:04	大きく第1部ってのは地震応答、計算書ですね、第二部これが
2:46:11	一番メインとなりますが耐震設計評価ですね耐震評価なるわけです。まず、45ページからのタイトル。まず、
2:46:21	第二部自主応答解析って書いてあるんですけども、これ。
2:46:25	どういう趣旨。要はですねこちらっぺんに手短に言っちゃいますと、まず、45ページからの内容っていうのは、補足説明っていう、48ページからかな。
2:46:37	構造評価っていうところ、その項目を抜粋されたものというふうに思ってます。
2:46:42	それと、あと、分、分析結果だとか条件ということで、宮補足説明で239ページからをこの資料の中に取りまとめてもらう。
2:46:53	資料になると思ってます。ですからまず第二部としては、それにそあったですね、タイトルにする必要があるというのが1点。
2:47:04	それと、内容として、先ほど言った補足説明でやっている48から111ページまで。
2:47:12	それから、その分析ということで21039ページから、
2:47:15	そのエッセンスをまとめてもらいたいということです。今ここに示されてる内容っていうのは、本当に最終結果数値だけでしか示されてなくて、
2:47:26	今までこういう資料は作らないようにって言ってきたそのものなんで、やはりその条件であったり、結果であったり、分析であったり、まとめであったりというものをですね。
2:47:37	ちゃんと計算書としてまとめてもらいたい。
2:47:40	という趣旨です。
2:47:43	趣旨伝わりましたでしょうか。
2:47:47	日本原燃イナズマです。はい。越野方理解いたしました資料の方おっしゃる通り結果のみを示す資料になってございますので、タイトルの修正も含めて補足側で説明している。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:59	内容ですね、このプロセスも含めて、今回の秋影響評価というところを実施している内容がわかる形で、第二部の方、
2:48:09	の記載事項については、最高、再構成させていただきたいと思います。以上です。
2:48:19	はい規制庁ハバサキです私の方から以上ですまず原価全体ちょっと見直しの方をお願いします。以上です。
2:48:29	と、規制庁、上出です。今あったように、全般、よくわからないというところなんですけど、もう一遍具体的に、
2:48:42	何かよくわからないなっていうのは8ページに、先ほど言いましたけど
2:48:47	セッ材の設計に用いるインプットはっていうことで6項目ですかね赤字で上がっていて、
2:48:55	結局、2ポツでは、いろいろ検証はしたんですけど、その結果設計に用いるこの6、
2:49:04	インプット、
2:49:06	どれを使うんだっていうのが、
2:49:08	第二部の方では、
2:49:11	明確ではない。
2:49:14	一部載ってるんですけど。
2:49:17	地盤の変位みたいなどころではこれを使えますっていうふうにはなくなって、
2:49:23	ページ数で言うと、
2:49:26	49ページですかねこれはもう、
2:49:29	そのまま杭の
2:49:31	結果とか、
2:49:33	式の説明みたいな。
2:49:36	けど、これに使ったインフラ
2:49:39	で、
2:49:40	第1部との繋がり、
2:49:42	あと第二部の始まりの方にこれが、設計に使うインプットですっていうので紹介がある答案繋がりがわかりやすくなると思うのでちょっとその辺、
2:49:53	もう意識してですね、見直していただければと思います。よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:00	日本原燃イナズマです。はい。ただいまのご指摘を踏まえた形で、第二部のそれぞれの部材の評価というものを、どのようなこと、このような、
2:50:10	条件のもとやってるのかというところがわかる形で、主資料の方は修正したいと思います。以上です。
2:50:22	慶弔関係です。あとは
2:50:27	最後の考察というか、第二部だと。
2:50:33	へえ。
2:50:35	54、3ページなのかなまとめありますけどこれは先ほど言ったように、やったことただ通達が書いているだけっていう感じなんで、やはり最初の方針に立ち戻ってですね。
2:50:48	こういう目的にやってた。
2:50:51	目的でやったことに対して、目的をどう達成したのか。
2:50:55	どう考えているのかっていうところを
2:50:58	書いてもらうのが大事だと思いますので、まとめのところは第1部も第二部もきちっと前段の文章読んで構成するようにしてください。よろしくをお願いします。
2:51:13	日本原燃の浅利です。はい。ご支援方理解いたしました第1部の方でもお答えさせていただきましたけども、そもそもの目的。
2:51:20	目的また方針に合った形でそれぞれどのような結果だったのかというところをまとめ、また考察の方をしたいと考えてございます。以上です。
2:51:31	資料って全部後にやるって話しました。
2:51:35	いや、してない。
2:51:37	いらないですね。
2:51:40	テレビこっちからね。
2:51:46	規制庁カミデです第二部という点で私の方は以上です。
2:51:54	規制庁小阪ですけどちょっと見返してないんで申し訳ないんですけど52ページの、
2:52:00	以上のことからっていうところなんですけど。
2:52:03	波及影響評価ということでいったところで、
2:52:08	木曾上部架構の部材の健全性。
2:52:13	ていうのはこの言葉は適切なんですか。
2:52:17	機能性の冷却塔への接触の有無というのはわかるんですけど。
2:52:22	部材健全性まで言うんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:26	基礎は何か健全性があってもいいような気がしなくもないんですけど、その辺りちょっと前の、
2:52:33	ページ、8ページなり何なり言ったところの関係で説明してもらえますか。
2:52:39	何調査、7ページですかねすみません。
2:52:58	現年を私の言ってる意味わかりますか。はい。日本原燃イナズマ失礼いたしました。
2:53:04	衛藤。7ページでお話しているところの、先ほど尾崎さんが言われた通り
2:53:10	波及影響という意味での接触というところも確認いたしますけれども、そもそもフレームですとか、木曽堀井そのものですね、C性能といたしますか。
2:53:23	自分自身が設置きちんと設計できているということも含めて、確認するところを記載してございますので、そういった意味で先ほど第二部のまとめの評価結果というところで51ページ。
2:53:36	の方で、例えば、木曽ですとか、木曽木曽木曽ばり帳簿加工について、51ページですね。
2:53:43	それぞれの
2:53:46	ぐらい、評価指標とクライテリア記載してございますがこういったところで、
2:53:50	先ほど、52ページの以上のところから記載している、各部材の健全性についても確認したというちょっとまとめで、今報酬2ページの方は記載しているといった整理でございます。
2:54:04	規制庁コサクですけど、だから、このクライテリアは健全性という言葉に丸められるものなのかっていうことの質問なんですけど。
2:54:14	座屈コウソクブレースは塑性域に入っているところは健全性って呼ぶんですね。
2:54:24	はい。日本原燃イナズマ座屈構想プレスにつきまして組織に入ったとしても、設計としては、衛藤稗田支店長コサクですけど、設計範囲内にあるのはわかってますけど、健全性という言葉でいいですか。
2:54:38	用語の定義としてどうなってるんですか。
2:54:46	我々一般的に健全性って言ったら弾性範囲だとかって思ったりするんですけど。
2:54:51	私の感覚がおかしいんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:55	日本原燃須藤です。ジャックス構想ブレットそもそも塑性化して、エネルギーを吸収しちょコサクですけどそれはわかっていて、それを健全性旧用語で、
2:55:06	使うもんなんですかって聞いているだけなんですけど。
2:55:09	元を使うんですって言うってことですね。
2:55:15	電力の方でそういう表現されてる方いらっしゃいます。
2:55:32	日本原燃の谷口です。すいません。きちんと考えてっていうわけではないんですけど、
2:55:38	通常の耐震計算をした時に4Sというクライテリアを使うときってられて、物が塑性変形しても、バウンダリ健全だったらいいですよっていう言い方で、
2:55:49	健全ですっていうのは言うこともあるかなっていうふうに今ちょっと思いました。
2:55:56	小阪です。それはバウンダリとしてっていうことがあって、
2:56:02	求められてる性能についてですねお話になるからいいんですけど、ここ部材って言っちゃってるんで。
2:56:08	ちょっと心配だっていうことなんですよね。
2:56:12	なんで、よく、言葉遣いとしてはいい。
2:56:16	現在全体、或いは支援する電力の方も含めてですね、よくこういうところは吟味して整理をしておいてください。よろしくお願いします。
2:56:27	はい。日本原燃谷口です。ありがとうございます。さっき佐藤が言っていた、もともとそういう構造を期待してるっていうことをそう言っちゃってたっていうことなんだと思います。表現するかはちょっと会合までに、
2:56:41	整理をして、統一をして表現したいと思います。ありがとうございます。
2:56:50	規制庁カミデです以上とって、おっきな場合はすいません、52ページでちょっとあったので、
2:56:56	まず、※書き。
2:56:59	の、計算式の数値の意味合い、計算式の出典なりというのを、それは説明を入れていただきたいと思うんですけど。
2:57:11	そもそもこのやり方自体が、先ほど第1部で話をしましたけど水平と鉛直の話の整理からこう、
2:57:20	展開されて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:22	来て、本当にこのやり方でいいのかっていうところまで、きちんと整理 いただかなきゃいけないと思っていますのでその辺の理解は、日本原 燃、
2:57:39	日本原燃の東です。はい水平部分の設計に対する強度というところにつ いては第1部の方でもしっかり、
2:57:48	改めて整理するとお答えしたところでございますので、それを踏まえた 形で、この52ページにおける減築の考え方についても、修正記すべき と考えてございますのでこちらの方、
2:58:00	適切な形で、到達分析、
2:58:05	説明できるような形で、修正したいと思い。
2:58:09	以上です。
2:58:11	はい、伊勢長コサクですけど念のためにおきますけど、検定比で判断す るっていうのは評価方針として根本的に従来の設工認と違うっていうこ となので、
2:58:21	その点、もう理解をちゃんとしてくださいねというところでは。
2:58:27	以上です。
2:58:29	網野さんすいません。
2:58:31	よろしくお願いします
2:58:32	はい。カミデです私も同じことよう思って、ちゃんと説明。
2:58:38	見てみないっていうところは、
2:58:41	あるんですけど、見た感じは、もう本当検定比に対して応答倍っていう 形で、
2:58:48	なかなか見たこともないし妥当性もパツと思えない。
2:58:53	なんか、東梅するにしても、鉛直方向の荷重みたいなところですね。
2:58:58	付けして、応力生じてみたいところだったらまだそんなもんかと思う んですけど。
2:59:06	最終的なあ、検定比に対して倍率をと言われてるのは何でこれでいいの かなって非常に、はてながたくさんあるようなところですので、
2:59:18	ちゃんと説明してくださいということでお願いします。
2:59:23	鉛直力も小さいと。
2:59:26	2本目で皆様に少しご趣旨の方理解いたしましたので、こちらの方、前 回ちょっと合わせて、説明の方は修正し、ご説明したいと思います。以 上です。ちょっとこれ、すごいしょうがない。
2:59:47	うん。うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:48	はい。
2:59:53	規制庁の竹野秘書その他規制庁側から、この資料について、過去にございますでしょうか。
3:00:03	準備中ですね。ちょっと全体ツールという計算の話になりますけれども。
3:00:09	前回の会合の資料を再掲している、もしくはちょっと一部いじくって再掲しているページも結構あるかと思いますが、
3:00:19	そういったものについては、あとですね、背景とか昔、
3:00:24	こういったものを入れておいていただければと思います。
3:00:29	現バーンアップ程度ぐらいまでは全然出てきてません。東京全体事業について、その補足を加えておいていただければと思います。
3:00:43	日本原燃イナズマかしまりました。趣旨の方に理解いたしました9ページ以降につきましても、方針として12月の会合でお示ししていて、その結果について今回お示したというところが、
3:00:57	例えば11ページ以降ございますので、そういった形で前回から解決しているというところがわかる形で右肩にですね、補足で説明を付け加えるようにしたいと思います。以上です。
3:01:13	規制庁金です。はい。お願いします。特に今の28ページ以降参考資料の1からですね。
3:01:20	ほぼほぼ体系だと思われるところなんですけど。
3:01:24	やっぱり、
3:01:28	いただければ、
3:01:32	日本原燃夏目深沢委員さんの参考部分も合わせ、
3:01:35	前回の会合との再掲部分、もしくは加除修正して、
3:01:40	あとは、
3:01:42	修正してますということがわかる形で、
3:01:45	資料の方、追記したいと思います。以上です。
3:01:52	規制庁、上出です。体裁について、
3:01:57	ちょっと確認というか、
3:02:00	思っているところなんですけど参考資料が、第一部の後に第1部の参考資料で第二部の後に第二部の参考資料なんですけど。
3:02:12	途中に参考資料がある等、頭から読んでいくとここで資料本紙終わりなのかなっていうところがあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:20	後 2 まとめ参考資料はまた後ろに表紙をつけてですね、まとめた方がいいんじゃないかと思えますけど、その辺、
3:02:30	事業者側の説明だとかですね、規制庁側としてもやりとりするのに、今の形がいいっていう意見があれば、今のままでとは思えますけど、皆さんいかがでしょうか。参考書にしてはどうかと思うんですけど。
3:02:55	すいません日本言明です館内放送が流れてるため少々お待ちください。
3:03:10	日本原燃イナズマです。衛藤。
3:03:13	日本原燃側事業者側と考えとしましては第 1 部等、タイミングをしっかりと分けた方がいいのかなと。前回の指摘を踏まえまして 3 項につきましても、
3:03:25	それぞれ対する場合に分けているという、整理してございます。
3:03:32	こちらの考えとしては以上でございます。
3:03:40	はい。規制庁、深見です。わかりました。
3:03:44	そうするともうちょっと目次なりで明確にした方がいいんじゃないかと思えますので、
3:03:53	2 ページ。
3:03:56	の第 1 部と第二部のところに小さい文字で、参考資料みたいな形で、こういうものが挟まってるよっていうのがわかるようにしてもらえるとまだいいかなと思えますのでちょっとその辺り検討してください。
3:04:12	日本原電の東です。はい。越し理解いたしました第一部の、この金 4 から 27 というところには、参考も入っているということがわかる形で、記載の方は、
3:04:22	適正なものにしたいと思えます。以上です。
3:04:31	他に。
3:04:32	そうです。
3:04:41	規制庁の竹田です。それでは飛来物防護ネットの介護指導の確認としては以上としていただきます。簡単で結構ですので、修正方針について。
3:04:51	いただけるでしょうか。
3:04:59	はい。2 本目のイナズマです。本日、第 1 部第二部それぞれコメントいただきました事項につきましては、
3:05:08	ご趣旨に従ってと修正したいと思えます。
3:05:17	規制庁津川です。修正いただく資料はいつごろ提出をいただけますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:24	日本原燃の東です。江藤。本日いただいた資料に対してコメント対応したものに付きましては、
3:05:33	21 日木曜日に提出したいと考えてございます。以上です。
3:05:39	企業であります。
3:05:41	決して、
3:05:44	だから、何か言っていただき、できるだけ明日という話。
3:05:51	瀬戸津村です。
3:05:53	藤。
3:05:55	こっちの机上なんですけれども、幹部レクとありますんで、
3:05:59	可能であれば、明日出してもらいたいと思うんですが、ちょっと無理ですかね。
3:06:10	と言って、明後日の朝、
3:06:13	日本で今ちょっと放送なってます少々お待ちください。
3:06:21	全国でも、
3:06:24	藤山です。
3:06:28	補佐もやるってんですよね。いや、いや、いいんじゃないですか。いや。
3:06:34	確認しないです。
3:06:48	日本原燃イナズマです。はい。
3:06:50	下の断面で申し上げませんでしたところまでという形でドラフトの段階で、その断面で一度お出し出させていただきまして正式な資料としては、木曜日提出という対応をさせていただきたいと考えてございますがいかがでしょうかという感じです。
3:07:09	規制庁の津川です。明日の断面での暫定版ってことは理解しました。木曜日提出される資料は何時頃提出されますでしょうか。
3:07:23	4名であります。はい。江藤現在、4時一定の目標として出したいと考えてございます。
3:07:34	思います。
3:07:35	午前中ですね。
3:07:40	施設面でストウ。
3:07:47	可能であれば、午前中にいただくと。
3:07:50	こちらとしての都合はいいんですけれどもいかがでしょうか。
3:07:56	樋口。
3:08:04	伊達根源になります。はい。評価いたしました。そうしますと普通の夕方をちょっと今日として出そうとしてるドラフ等々、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:16	木曜日の午前中というものがあまり下がってなくなってしまうので、資料としては、木曜日の午前中を目標に最終版を提出という形で対応させていただきたいんですけども、いかがでしょうか。
3:08:31	規制庁津川です。はい、了解しました。木曜日の午前中に介護資料、この本日のヒアリング踏まえて修正したものを出されるということで理解しました。
3:08:44	そうです。
3:08:48	規制庁カミデです。
3:08:50	MOXの燃料加工建屋も会合にかけるとのことなんでこれから話を聞きますけど、こちらの希望としては同じスケジュール感を希望しますが、
3:09:01	今のイナズマさんのお答えで、
3:09:03	年、燃料加工建屋のことを考えて発言されてましたか。
3:09:10	日本語になります。もう複数側の資料も同様のスケジュールでご提出させていただきたいと考えてございます。以上です。
3:09:19	はい、規制庁会員数、わかりました。
3:09:25	ちょっと。
3:09:27	小浦宗。
3:09:31	規制庁の竹田です。それではですね次の議題に入りたいと思いますが、
3:09:37	AMEX、
3:09:39	会議資料につきましては画面共有ということで、わあ、作成の方針等について説明をお願いし、いたします。
3:09:46	はい。に江沢氏でございます本日は資料の方も違いますんで申し訳ありませんでした。こちらの方の資料といたしましては先週の木曜日に画面共有とその後ヒアリング資料としてお出ししている。すみません今館内放送がありました少々お待ちください。
3:10:10	大成建設の福沢関係、大成建設高橋です。目標の方は大成建設関わっておりませんので、大成建設はここで退出させていただきます。
3:10:30	はい、了解しました。お疲れ様です。
3:10:35	はい。日本原燃です。すみませんでした。館内放送終わりましたので、次させていただきます。こちらの方の資料といたしましては先週ご説明した内容のところから大きく二つの事項につきまして追加してございます。一つ大きな事項といたしましてはヒアリング人、米田でございました。1.2の取り扱いに関しまして資料の方に盛り込んだと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:55	いったところと、あと前回につきましては解析の結果の表のみでございましたので、そちらの方の前段の部分として建屋の応答の分布状況といったところが、どのような形になってるのかといったところをですね、付け加える形のところで、
3:11:11	改正結果へつなぐ部分として資料の方を構成したといったところが大きな変更点になってございます。それでは2ページ目の方をお願いいたします。
3:11:21	こちらの方といたしましては基本方針といたしまして、前回の方2では1.2取り扱いの方が、特にございませんでしたので今回といたしましては丁寧な記載としまして、安全機能を有する施設としての評価の部分として、こちらの方のSクラスの評価及び各間接支持に対しての評価の内容ということ。
3:11:41	ところについて記載するといったところでございます。またあわせまして重大事故等対処施設としての評価といったところで、9建屋としての間接支持機能についての評価といったところを、追記させていただいてございます。
3:11:54	またあわせて、1最後でございませうけども基準地震動を1.2倍した地震力に対する、事故対処等の成立性の確認といったところで最終的に燃料加工建屋といたしましては、重大事故等対処に対して妨げにならないことを確認するといったところで、各、
3:12:12	項目に対しての機能要求及び耐震の評価方針についてまとめてございます。続きまして3ページ目をお願いいたします。
3:12:19	こちらの方は安全機能を有する施設の評価といったところで地震応答解析評価といったところで、これまでご説明している内容につきまして機能要求からそちらの方の機能設計上の目標及び考慮する地震力、あとそれに対しての評価部位と。
3:12:36	機能維持の考え方といったところを整理したものを添付させていただいてございます。次のページをお願いいたします。
3:12:42	こちらの費用といたしましては先ほどのものが地震応答解析のものに対して、ここ部材評価としての応力解析により評価に対して実施する内容として、同様な形の方で、各部材に対しての検討の方針についてまとめてございます。
3:12:58	次をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:01	こちらの方が今回新たに追加した部分といたしまして当社特有でございます基準地震動を1.2倍にした事情に対する重大事故の対処の成立性の確認といったところで、
3:13:14	資料の方をまとめてございます。最初の冒頭でございますけれども、重大事項のMOXとして考慮する事項の対象として、MOX粉末が建屋外に放出されてしまう事項といったところを事象選定してございますのでこちらに対して、
3:13:28	建屋に対する性能目標が何なのかといったところと、各、こちらの方の機能に対してどういったところを防止していただくという方を評価していくのかといったところのまとめでございます。
3:13:40	建屋に対する性能目標といたしましては最後の矢部のところにまとめに記載してございますけれども、重大事故に対処する際において建屋が倒壊せず、グローブボックス及び対処に必要な機器の支持機能が確保されているといったところが基本的に建屋に対する、
3:13:56	性能目標になってございますのでこちらに対して確認の方を実施するといったところにしてございます。
3:14:01	具体的な確認内容としましては二つの事象といたしまして、建屋自体が倒壊しないこと、あとはC機能が確保されていること、この二つの点に対しまして、こちらの方に記載している内容に関して、最終的に下の表にまとめてございますけれども、
3:14:17	評価内容といたしましては、耐震比木の部分と、あとは木曾氏、それを支えます支持地盤についての確認の方を実施していくといったところで、各許容限界との適用性といったところをまとめてございます。
3:14:31	次お願いいたします。
3:14:34	こちらがこちらから各解析の更新という形の方で、まず地震応答解析の方法の方から記載してございますこの内容といたしましては前回ご説明した内容でございますけれども、これまでの審査事項を踏まえた反映事項といたしまして、
3:14:51	地盤モデル設定の部分と、あと入力振動の算定に関しての部分、こちらの方につきまして、各会合での内容を踏まえたところで地震応答解析を実施していくといったところをまとめてございます。次のページをお願いいたします。
3:15:06	また、地震応答解析のもう一つの要素でございますけれども、隣接建屋による評価といったところも会合内容として、実施しているところでござ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いますので、会合での説明内容及びそちらの方の反映事項といったところをまとめてございます。
3:15:20	次お願いいたします。
3:15:23	また応答評価の中で当社特有の一関東評価用地震動に対して各鉛直に対する評価、検討というところがございまして、そちらの方の実施内容に関しまして、こちらの方のページとしてまとめているものでございます。
3:15:37	次お願いいたします。
3:15:40	ここから先ほどの地震応答解析を受けまして、各部材の評価方法といったところでまとめている内容になってございます。
3:15:48	事象と解析による評価といたしましては先ほどの地震応答解析を用いまして、耐震のせん断ひずみの確認を実施していくといったところと地盤の支持性能の確認及び合理性耐力の確認を実施していくといったところをまとめてございます。
3:16:03	またこちらの方の地震応答解析のほうを受けまして、各部材に対しましての抗力評価といったところが生じて参りますので、各Sクラスの壁及びSクラスの床の評価の概要及び、あと脇側に対しての評価モデルのほうを記載させていただいてございます。
3:16:21	次お願いいたします。
3:16:27	こちらの方が今回新しく追加した事項といたしまして最終的な応答解析の結果を受けて、MOX建屋としてどのような応答の特徴になってるのかといったところをまとめているところでございます。
3:16:40	まずこちらの方の表とこちらのページといたしましては、建屋全体としての地震応答解析の分離傾向といったところを示してございます。こちらの方の応答解析結果の表で示している内容といたしましては、
3:16:53	建屋のせん断力の分布とあとは、せん断ひずみ等の分布のほうを示させていただいてございます。こちらの方を見ていただきます通り、目視建屋のせん断力分布といたしましては、朝会から下階に向けてせん断力の方が
3:17:07	階段状の方に増えていくといったような形の方で、一般的なせん断力の分布であるといったところを確定確認してございまして、特定の層で特異な応力分布が示す傾向ではないというところを確認しているところでございます。
3:17:23	また最終的な、耐震の評価でございます、せん断スケルトン上のひずみに対しての確認といたしましても、評価基準値でございます 2000 マイ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	クロに対して裕度を持った確認結果となっているところを確認しているところでございます。次お願いいたします。
3:17:39	また先ほど地震応答解析面部方を各部材の評価といたしまして各通りごとのですね、建屋の
3:17:49	応答分布といったところを確認してるのはこちらの方になってございますこちらの表といたしましては基本的に各通り、各会、各通りにおけますせん断応力度の分布傾向のほうを示してございます。
3:18:02	こちらの絵を見ていただきます通り、各層内におきまして、概ね均質に応力としては、分散されたようなものになってございまして、特にどっかの層において、応力が集中するといったような事象が生じていなくて、建屋としましてはバランスのよい応力分布になっているといったところを確認しているといったところを示してございます。
3:18:25	こちらの方の各応力解析結果に基づきまして次のページでございすけども、
3:18:31	耐震評価結果といたしまして、各部材に対しましての検討結果といったところをまとめているものでございます。
3:18:39	またこちらの方基礎スラブの応力の分布傾向の方を示してございすけども、基本的には広く穏やかな分布になっているといったところを確認しているといったところでございます。次のページお願いします。
3:18:55	こちらの方が水平2方向及び鉛直方向の評価結果となってございまして、うまく、まずこちらの方としましては、
3:19:04	影響評価のある部位といったところを抽出いたしまして燃料加工建屋といたしましては基礎スラブといったところが2方向の影響を受ける部材として確認の方を抽出してございます。こちらの方に対しまして、
3:19:16	応答結果の方をまとめたのがこちらの値という形になってございます。次お願いいたします。
3:19:24	また確認項目でございます。1、隣接建屋及び一関東評価用地震動に対しまして、応答比率の方を算出いたしまして、応答比率を乗じた検定比に対しまして、こちらの方が耐震性に影響ないことを確認しているというところをまとめてございます。
3:19:41	次お願いいたします。
3:19:44	またあわせまして1.2の、地震力に対しての影響評価といったところを今日確認結果といたしまして、こちらの方の先ほどご説明いたしました耐震木藤千葉に対しての各、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:58	教授に対してのものが、検定比内に収まっているといったところを確認しているといったところで、基準地震動S sの1.2倍とあと水平2方向、水平2方向に対しましては、A、
3:20:09	方向性の時代ではございませんので、該当しない旨のほうを記載してございます。次お願いいたします。
3:20:17	またこちらの表といたしましては隣接による影響評価及び日野関東に対しては影響評価といったところで、各評価項目に対しまして、1点に対しても、検定値の方が満足する上の方をまとめてございます。
3:20:32	次お願いいたします。
3:20:34	最終的なまとめといたしまして、こちらの方のこれまでの審査の中で受けた内容に関しましては、適切に最終評価の方へ反映の方を行って参りましたといったところと、
3:20:47	最終的な評価といたしまして耐震性に問題ないこと及び重大事故の対象に対しまして妨げられないことを確認したといったところを示してございます。こちらの方の評価結果につきましては、今後、設工認資料の方に適切に反映して参りますといったところまとめてございます。説明は以上でございます。
3:21:07	規制庁竹田です。ありがとうございます。
3:21:10	岩月間瀬規制庁側から確認コメントございますでしょうか。
3:21:17	と、規制庁カミデですまず確認ですけど今画面共有いただいたものは、この後、ヒアリング資料として提出いただけるということですね。
3:21:29	はい日本連動してございます。説明が不足していましたがヒアリング資料といたしまして提示させていただきます。
3:21:36	は規制庁カミデず、あと日本原燃としてペンディングになってる部分は、現状なしということでもいいですか。
3:21:47	はい今現状日本原燃としてペンディングにしている部分はございません。
3:21:53	はい、規制庁カミデですか。あとですね、
3:21:56	会合の議題なんですけどこれ資料1になってますけど。
3:22:00	どっちかっていうと前回冷却塔の話をしていたので、先に冷却塔になるんじゃないかと思ってましたけど。
3:22:09	冷却塔の話をして燃料加工建屋っていう順番でも問題ないですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:16	うん。規制庁コサクですけどそれ最初に話をして、津金さんが何かMOXが先とかって言われてたんですけど、すいません、どういう話されています。
3:22:26	一つがです。
3:22:29	選手でしたかねちょっと話をした時にはもう楠田事実関係がちょっとなって、あまり議論にならないだろう。一方、冷却とは議論になるので、少し時間がかかるだろうということで、
3:22:40	MOX先にしした方がいいんじゃないかということで検討してましたけれども、ちょっとその辺まだ中でちゃんと協議がされてませんので改めてちょっと補正してご連絡したいと思います。
3:22:50	以上です。
3:22:54	はい。日本原燃、了解いたしました。
3:23:00	あと、規制庁込みすいませんちょっと失礼しました。
3:23:06	あと資料の目次部分見せてもらえますかね。
3:23:13	2年トガシございます。すいませんちょっと本日の週には目次がございませんでしたので目次の方は入れさせていただきます。はい。
3:23:22	具体的な構成といたしましては、(1)の基本方針といったところがございまして次に地震応答解析で次に応力解析という、
3:23:33	あそこで耐震評価といったところが繋がっていきまして、
3:23:39	最終的なまとめというような、(4)までの構成となっております。
3:23:45	はい、規制庁カミデさんちゃんと見ていないのでコメントも何もないんですけど、パッと説明された感じだと今どのパートをやっているのかっていうのが、
3:23:55	なんかもう絵文字も小さかったりしてですね。
3:23:59	今どのパートっていうのが、わかりにくいような感じだったので、きちんと公正さ、考えられてるんでしょうから。
3:24:09	他の資料の見た目とかですね、目次を付けるのもそうですけど、今どの話をしてるんだっていうのがわかるような構成で、まずは、
3:24:18	作っていただければいいかなと思います。
3:24:23	はい、乳井でございます。副長の方まず目次の方は、知久作成した上で各パートのところのところ少し基本方針だけではなくて少し呼び出しの方を付けさせていただきます。
3:24:36	神谷さんのおっしゃる、どこを説明していいのかといったところがわかりやすいような形の方で修正させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:44	はい。規制庁、カミデです。あと中身は
3:24:49	特に見れるようなものではないんですけど先ほど説明のあった、断面ごとの応力分布の結果みたいなところが、
3:25:01	耐震評価のページであってですね。
3:25:04	なんか応力集中なみたいのはしてませんよみたいな説明があったんですけど。
3:25:11	ちょっと何ページだったかは、
3:25:14	11 ページお願いします。
3:25:18	そうですねこういう説明をされる時も、
3:25:22	要は、
3:25:23	これも目的として概ね均等に分散するようにしますっていうのが、前段に、
3:25:30	書いてあるのかっていうところで、そういうところ目的、構造的な、こういう設計要旨というか目標があって、それに対してこういうふうに均等に概ね均等に、
3:25:44	力を分散するようになってるからいいんだっていうのがまさに考察だと思しますので、その辺り前後の関係を見てちゃんと説明性を上げると。
3:25:57	いうことで考えてもらいたいと思いますけど、いかがでしょうか。
3:26:02	はい日本で飛ばしてございます最初の冒頭のところが基本方針のところから入っているところなんですけどもおそらく今の内容といったところが行動計画の部分で、発電所等も含めて当社の施設もそうですけども、耐震県バランスよく配置するといったところが、
3:26:20	耐震設計における特徴だというふうに考えてございますので、そちらの方の、我々が当初描いてる部分の構造計画といったところを少し1枚をさしていただいて、その考え方といったところを記載した上でこういったところに飛んでいくような形で考えていきたいというふうに思います。
3:26:38	はい、規制庁カミデです。11 ページは1 例です、全体いろいろ見て米との関係を主前図書の関係というのを見てもらえればと思います。
3:26:50	あとですねちゃんと説明を聞けてないのが、1.2 S s に対して、DB だったり、SA の耐震であったり、
3:27:01	のところと 1.2 S s で、何が違うのか。
3:27:07	それがなぜいいのかっていうところが、きちんと説明される必要があります、まして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:14	今のは、
3:27:15	今御今ざっと説明を聞いた限りでは、あまり網羅的に説明はされていないし、なぜかというのも、ロジカルに説明されていないような感じがしましたので、
3:27:29	そこはきちっと確認しなければいけないので事業者の考えを明確にしてもらうように、お願いします。今この画面に出て記載云々と。
3:27:39	いうほど読めてないですけど、
3:27:42	そう。その点、大事だと思いますので、きちんと考えてください。よろしくお願いします。
3:27:49	はい。日本原燃谷口です。ありがとうございます資料です画面5ページ目を出していただけますか。
3:27:59	一応ですね資料としては安全審査の時からありました実際重大事故としてどういうことを想定してるのかと。
3:28:07	いうのでMOX粉末が外に出してしまうん事故ですと。
3:28:11	それを防ぐ、重大事故の対象がきちんとできるというのはどういうことなんだっていうことを考えた上で、建屋に対して要求されてる制度の動きは何だと。
3:28:21	いうことを示した上で、それを達成するためにはどうするかということで建物が倒壊しないことと、あと中にある機器が、きちんと指示されていることとということが必要なんでと。
3:28:33	共同でブレイクして行った上で、最終的に建物として評価するのは、安心等一番ですというような流れでまとめています。今回ですね申請が、建物だけになってしまっていて機器の評価がちょっとここで、
3:28:47	売られていないというのはそれは確かにおっしゃられる通りですので、考え方ぐらいいは書けるようにしたいなというふうに思いますが、一応そんなことで上流側からの整理を踏まえて、建屋として具備しないといけない制度なんだと。
3:29:00	いうことを整理させていただいてるつもりではおります。ちょっと先ほど申し上げた機器の内容もそうですけれども、実際にその建物が倒壊しないということで、どうして重大事故の対処ができるのかということもうちよっと、
3:29:13	言葉としては書ける内容があるかなと思いますので、それは反映していきたいと思います。今日ちょっと次回の何か本当に申し訳ないんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:23	資料としては合意させていただいて先ほど口頭で申し上げた別紙の 14 と 15. というやつの中で今回 1.2 S s に対してということをやりますというような添付書類の内容として記載をしていますそこで書いてあることの内容を、
3:29:37	もう少し丁寧にこちらの会合の資料の中にも引き上げてくるのかなということでもっと資料としては考えたいと思います。
3:29:44	以上でございます。
3:29:46	あと、規制庁カミデです。2 ページ目を見せてもらえますかね。
3:29:53	2 ページ目の 1.2 S s のところなんですけど、このあたりもちょっと許可本文の約束事項も見て、
3:30:04	記載をいただければと思います。何が書いてあるかっていうと、
3:30:10	設計基準、
3:30:12	何の、設計方針を踏襲してるってことが書いてあったと思いますのでその辺り許可での約束事項として、1.2 S s は基準で云々ではなくて許可での約束事項ですから。
3:30:25	ここ本文でどんなことが書いてある家系を踏まえてもう少し書いていただいて、そうすると
3:30:33	この違う、基本的に違いが出ないはずなんですけど、D B S A の耐震設計方針との違いってというのは何なんだってそれはなぜいいんだという説明をしなきゃいけないっていうところに、
3:30:44	ちゃんと認識が行くと思いますのでまずは 2 ページ目のところですね、ちゃんと許可の内容を踏まえて、書いてもらいたいというところですよ。私の方からは以上です。
3:30:58	はい。日本原燃谷口です。承知いたしました。実際に基本的には帝人設計で考慮している内容を踏襲すると。
3:31:07	ただし入力が変わるということと、あと評価対象部位が変わるっていうことと、あとその評価のクライテリアが変わるっていうこと。これもあわせて許可の中で記載をさせていただいていたと思いますので、
3:31:18	そういった内容を踏まえて、今回、耐震評価するということに、長野ちゃんと流れていきますと。
3:31:25	いうことで変えていきたいと思います。分量でいきますとちょっとそういったことですのでこの 1 ページにちょっと収まらなくなるといいますんでちゃんとその 1.2 の考え方っていうので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:35	整理して、資料としては入れたいなというふうに思いました。ありがとうございます。
3:31:43	いいですか。
3:31:44	規制庁濱崎です。メインのシナリオといいますか、ストーリー過程については今日聞いたということで理解したんですけども。
3:31:53	今後技術基準適合の観点からするとですね例えばばらつきの話だとかも入ってくるわけですし、実際、モック数、
3:32:03	東大収益だとか、実挙動の検討もやられてると思いますので、そういった結果をすべて網羅的に説明する必要はないんですけども、ちゃんとその技術基準適用という観点で、
3:32:16	見落としなく検討していると、もう結果についても説明をするという形です。そこら辺、きちんと漏れのないような資料作りというのをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
3:32:30	はい。日本原燃谷口です。今のご指摘でいきますと、実際のその耐震設計としてやっている内容で、技術基準への適合性への説明の仕方と、
3:32:40	1.2 S s に対しての、もちろん伝えますっていうことの、技術基準への適合の仕方は中身としてはちょっと変わってきますので、その考え方も踏まえてきちんと記載をするっていうご指摘なのかなというふうに思いました。そういったことでよろしいですかね。
3:32:57	規制庁ハバサキです。その理解で結構です。
3:33:01	はい。日本原燃谷口です。ありがとうございます。承知いたしました。
3:33:08	規制庁の竹田です。そういう点確認させてもらいたいんですけど、今、開いてもらっているページで、
3:33:14	S クラスの壁及び床っていう記載あるんですけど。
3:33:19	補足説明資料の中では、重要区域の壁とか床っていうのがあるんですけどこれは同じものと考えていいのでしょうか。
3:33:29	はい4年トガシでございます同じものでございます。
3:33:32	わかりました。ちょっと補足説明資料等、用語の統一が取るようお願いいたします。
3:33:42	はい。日本円飛ばしてございます少し前 S C A T の壁と言った方が少しわかりやすいかなといったところで今回の資料としましてはそういう仕組みにしているところもございますので少しその呼び出し等でちょっと、
3:33:53	紐付けができるような形の方で検討させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:33:57	院長武田です。お願いいたします。タケダからは以上です。
3:34:01	規制庁、カミデです。今の話ですけど、確かに補足説明資料重要区域、許可に書いてあるような感じではありますけど。
3:34:11	会合のパワーポっていうわかりやすさっていう意味では、これ確かもともと重要度分類表の案 12 は、
3:34:19	安重としても登録してる壁伺って、壁があって、
3:34:24	そのことを言っているんだと思うので、安重能壁部分だとかですね、もう少し平たい部、言葉でも表現できるかと思しますので、
3:34:35	その辺り、会合でどう示すか、介護士をどう示すかはそんな感じで考えてもらえればいいと思いますので、よろしくお願いします。
3:34:46	羽生土橋でございます。了解いたしまして一応今苅谷さんの趣旨のところはSクラスの壁を以下って言ったところでアスタリスクの方を出していただいて、
3:34:56	その案準の観点のみにされている施設なんですよといったところは、呼び出しの方をつけてございますので、そこの部分が足りているかどうかというところを再度検討させていただきます。
3:35:09	規制庁竹田ですその他規制庁側から確認ございますでしょうか。
3:35:16	よろしいでしょうか。
3:35:18	それでは、どこの資料についての確認は以上とさせていただきます。
3:35:24	ポイントを踏まえての主、修正の反映方針等ございました説明の方お願いいたします。
3:35:32	伴米田氏でございます今ほど議論させていただきました件の1点の取り扱いのところといったところで、許可の本文との間と整合性、見解ですねそういったところがきちんとわかるような形と。
3:35:45	書いている部分といったところに対しても丁寧に記載していくといったところを、支出手話におきまして資料の方をブラッシュアップの方さしていただきたいというふうに思います。
3:35:56	規制庁竹田です。ありがとうございます。
3:36:00	それでは本日のヒアリングの議題としては以上とさせていただきます。
3:36:05	全体通して規制庁側から何かございますでしょうか。
3:36:12	よろしいでしょうか。日本原燃の方から何か連絡等ございますでしょうか。
3:36:19	日本原燃側特にございません。ありがとうございました。
3:36:23	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:24	それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
3:36:31	わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。